地域福祉アンケート調査
結果報告書

令和２年１月
古河市

ー　目　　次ー

Ⅰ．調査の概要 1
１　調査目的 1
２　調査の種類と実施方法 1
３　回収結果 1
４　報告書をみる際の注意 1
Ⅱ．調査結果 2
１　回答者について 2
（１）性別 2
（２）年齢 2
（３）職業 3
（４）世帯構成 3
（５）居住年数 4
（６）居住地区（中学校区） 4
（７）同居家族の該当者 5
２　平常時（ふだん）の地域福祉への関心について 6
（８）地域福祉への関心 6
（９）地域住民の支え合いの変化 8
(10) 居住地区での地域住民の支え合いの変化 10
(11) 地域住民で住みよい地域社会を実現していくうえでの課題 12
３　地域での暮らしや近所での関わりについて 14
(12) 居住地域での暮らし 14
(13) 居住地域の暮らしやすさ 16
(14) 居住地域住民の困りごと 18
(15) 近隣住民との付き合い 20
(16) 困っている近隣住民への手助け 22
(17) 困った状態になった際の近隣住民からの手助け 24
(18) 困っている近隣住民にできる手助け 26
(19) 困った際に近隣住民にしてほしい手助け 28
(20) 市民同士がともに支え合う地域づくりを進めるために必要なこと 30
(21) 地域福祉活動への参加状況 32
(22) 地域福祉活動への参加形態 34
(23) 参加している地域福祉活動 36

（24）地域福祉活動に参加しない理由 38
４　災害時の地域での支援について 40
（25）地域住民の助け合い活動への関心度の変化 40
（26）災害時の居住地域自治組織の人同士による助け合い活動の変化 42
（27）災害で困った際に家族や親族、行政や公共事業以外で最も受けたい支援 44
（28）災害等の緊急時の地域支援者の存在 46
（29）災害等の支援者 48
（30）災害等の緊急時に支援が必要な人に対する手助け 50
（31）「避難行動要支援者」という言葉の認知 52
（32）居住地区の避難所の場所の認知 53
（33）地域の防災活動・訓練への参加状況 54
（34）災害時に備えた避難計画や備蓄などの準備 55
５　福祉情報の入手先・福祉の相談先について 56
（35）直近半年に市の保健福祉情報を必要とした経験 56
（36）市の保健福祉情報の入手スピード 58
（37）今後希望する市の保健福祉情報の入手方法 60
（38）現在の生活についての悩みや不安 62
（39）保健や福祉についての相談先 64
６　地域福祉の目標・ビジョンについて 66
（40）古河市に期待するまちの在り方 66
（41）古河市の地域福祉で重視すべき点 68
７　社会福祉協議会について 70
（42）地域福祉活動を推進する「古河市社会福祉協議会」の認知 70
（43）地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの認知 72
（44）地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みへの関心 73
（45）地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの勉強会や協議体の参加希望 75
（46）社会福祉協議会による「社協だより」やＨＰの認知 77
（47）社会福祉協議会の「古河市生活支援センター」の活動の認知 79
（48）社会福祉協議会が行う活動の認知状況 81
（49）社会福祉協議会が行うなかで期待する活動 83
自由意見 85
（50）社会福祉協議会に期待すること 85
（51）社会福祉協議会に関する意見・感想 87
（52）古河市の地域福祉に関する意見・感想 88

Ⅰ．調査の概要

１　調査目的

本調査は、市民の皆様に地域における課題やご意見をおうかがいし、地域福祉計画をつくるうえでの基礎資料とする目的で実施しました。

２　調査の種類と実施方法

調査対象	20 歳以上 80 未満の一般市民
配布数	5,000 人を無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	令和元年９月

３　回収結果

配布数	回収数	有効回収数
5,000 人	1,726 人 （回収率　34.5%）	1,714 人 （回収率　34.3%）

４　報告書をみる際の注意

・回答項目の比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第２位を四捨五入して算出しているため、合計が 100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が 100%を超える場合があります。
・図表中の「ｎ＝〇〇」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
・単数回答は帯グラフ、複数回答は棒グラフとなっています。棒グラフは、すべて割合による降順となっています。
・問の中には「～と回答した方におたずねします。」などいろいろな限定があり、回答者が少ない場合は、数人の違いで割合が大きく変わることがあります。

Ⅱ．調査結果

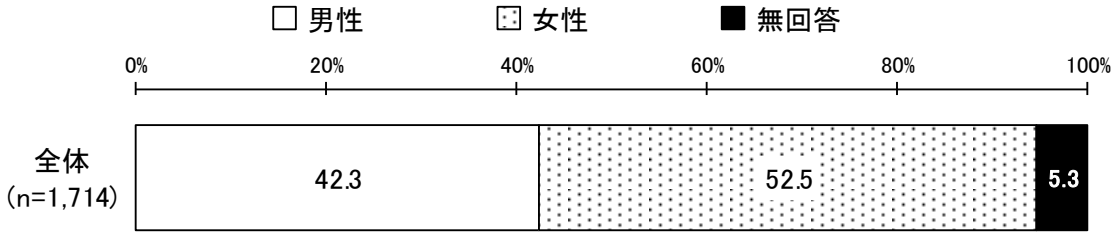
１　回答者について

（１）性別

問１　あなたの性別はどちらですか。

性別については、全体では「女性」の割合が 52.5％で、「男性」（42.3％）の割合を上回っています。

性別／全体

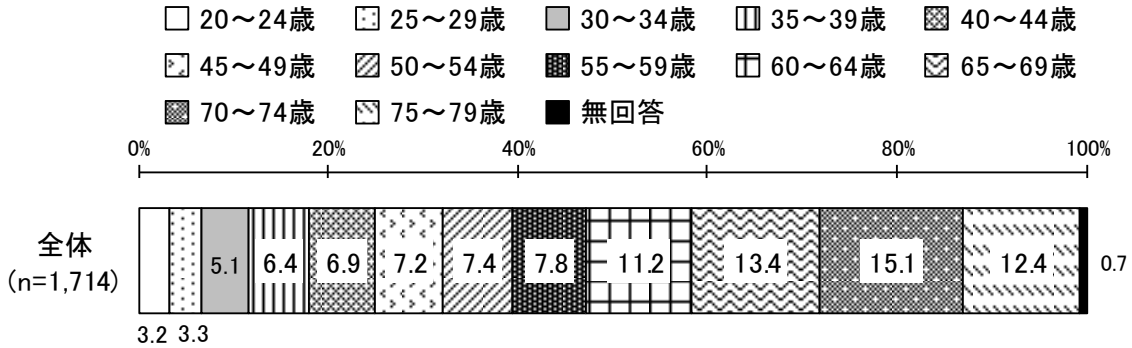


（２）年齢

問２　あなたの年齢はおいくつですか。（令和元年８月１日現在）

年齢については、全体では「70～74 歳」の割合が 15.1％で割合が最も高く、次いで「65～69 歳」（13.4％）、「75～79 歳」（12.4％）などの順となっています。

年齢／全体

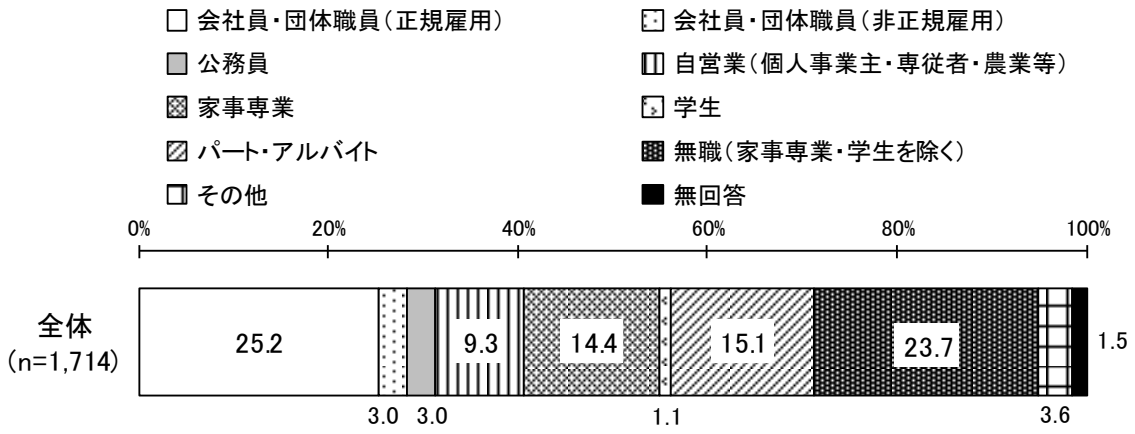


（３）職業

問３　あなたの現在の職業を教えてください。

職業については、全体では「会社員・団体職員（正規雇用）」の割合が 25.2％で割合が最も高く、次いで「無職（家事専業・学生を除く）」（23.7％）、「パート・アルバイト」（15.1％）などの順となっています。

職業／全体

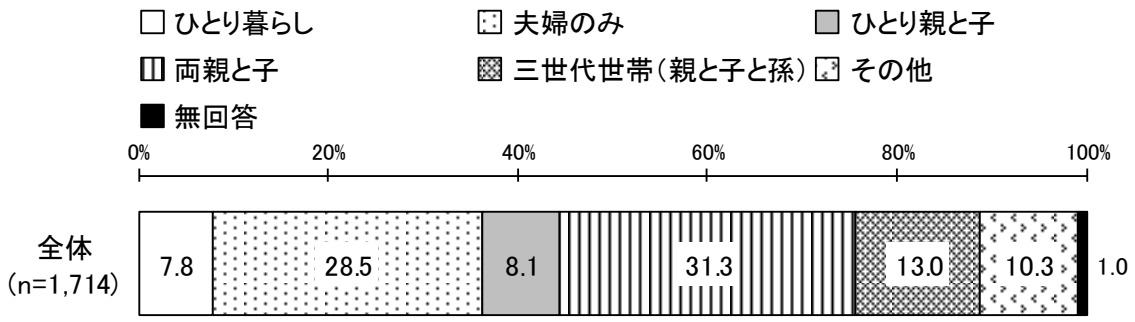


（４）世帯構成

問４　あなたの世帯構成を教えてください。

世帯構成については、全体では「両親と子」の割合が 31.3％で割合が最も高く、次いで「夫婦のみ」（28.5％）、「三世代世帯（親と子と孫）」（13.0％）などの順となっています。

世帯構成／全体

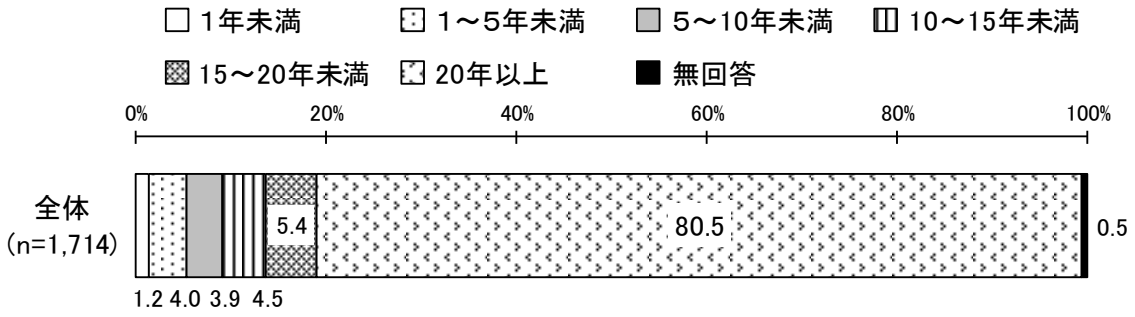


（５）居住年数

問５　あなたは古河市に住んで何年になりますか。

居住年数については、全体では「20 年以上」の割合が 80.5％で割合が最も高く、８割以上を占めています。次いで「15～20 年未満」（5.4％）、「10～15 年未満」（4.5％）などの順となっています。

居住年数／全体

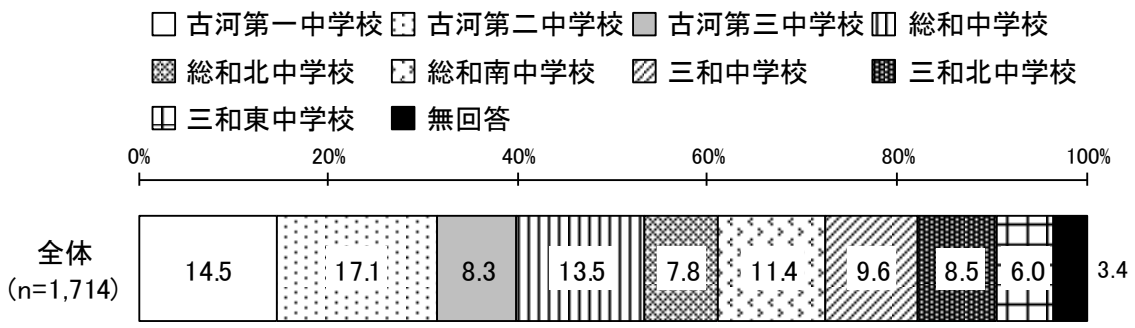


（６）居住地区（中学校区）

問６　あなたがお住いの地区（中学校区）を教えてください。

居住地区（中学校区）については、全体では「古河第二中学校」の割合が 17.1％で割合が最も高く、次いで「古河第一中学校」（14.5％）、「総和中学校」（13.5％）などの順となっています。

居住地区（中学校区）／全体

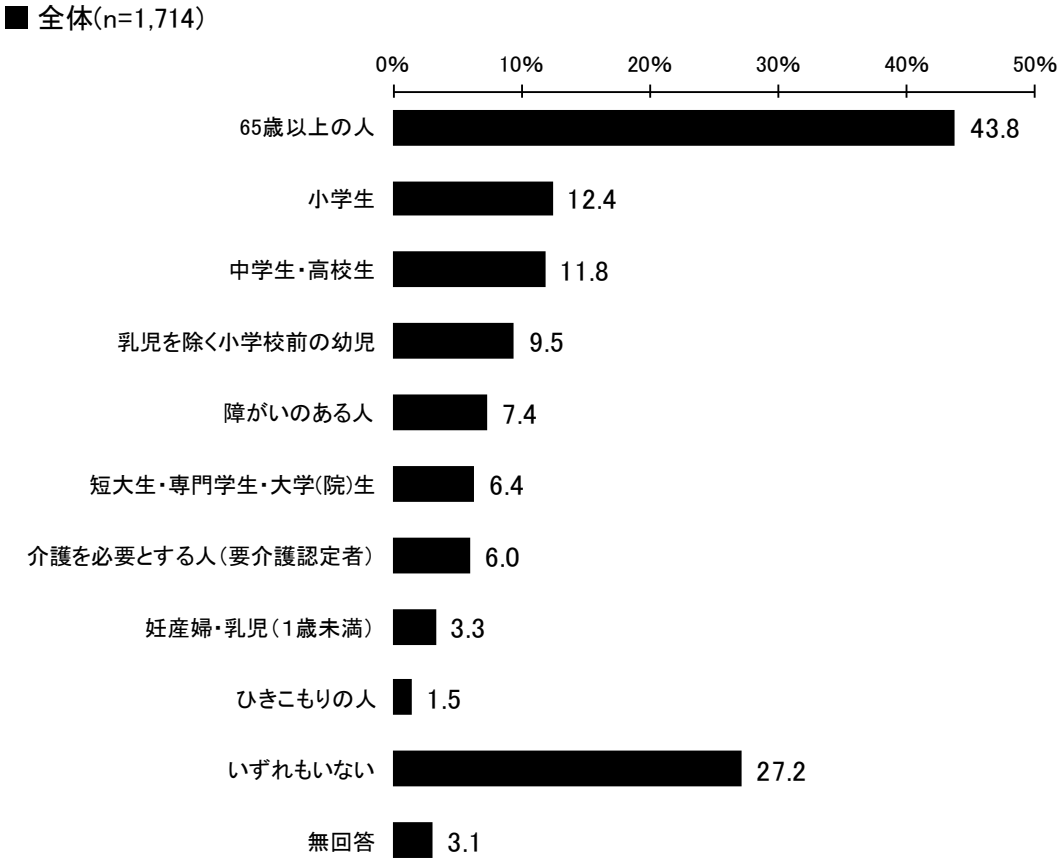


（７）同居家族の該当者

問７　あなた自身、またはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。
【複数回答】

同居家族の該当者については、全体では「65 歳以上の人」の割合が 43.8％で割合が最も高く、次いで「小学生」（12.4％）、「中学生・高校生」（11.8％）などの順となっています。なお、「いずれもいない」は 27.2％となっています。

同居家族の該当者【複数回答】／全体



２　平常時（ふだん）の地域福祉への関心について

（８）地域福祉への関心

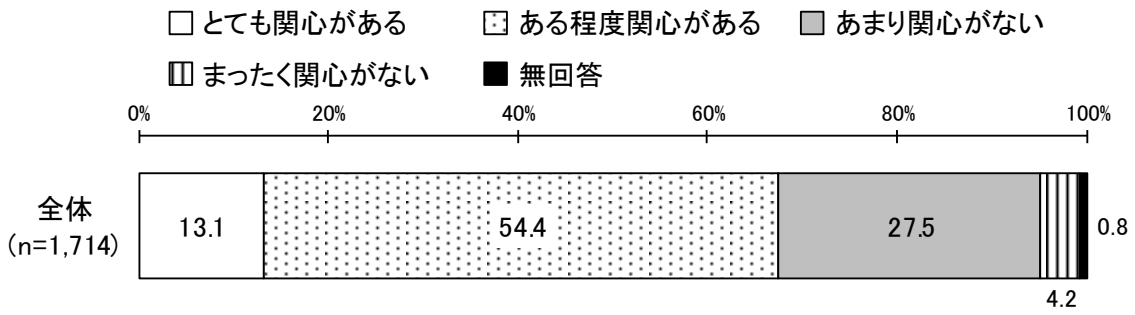
問８　あなたは、地域福祉（※）に関心をお持ちですか。
※「地域福祉」とは、地域住民同士が主体的となって、お互いに、支え合い助け合う活動などのことを言います。

地域福祉への関心については、全体では「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 67.5％で、「あまり関心がない」（27.5％）と「まったく関心がない」（4.2％）を合わせた“関心がない”（31.7％）の割合を上回っています。

年代別でみると、20 歳代は“関心がない”の割合が 57.2％と６割近くを占めていますが、30 歳代以上の年代は“関心がある”が“関心がない”を上回っており、年代が上がるにつれ割合が高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に“関心がある”の割合が“関心がない”を上回っています。

地域福祉への関心／全体



地域福祉への関心／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
全体		1,714 100.0	225 13.1	933 54.4	471 27.5	72 4.2	13 0.8
年代別	20歳代	112 100.0	5 4.5	43 38.4	47 42.0	17 15.2	0 0.0
	30歳代	196 100.0	21 10.7	78 39.8	81 41.3	16 8.2	0 0.0
	40歳代	242 100.0	23 9.5	119 49.2	87 36.0	13 5.4	0 0.0
	50歳代	259 100.0	35 13.5	137 52.9	77 29.7	9 3.5	1 0.4
	60歳代	422 100.0	36 8.5	263 62.3	107 25.4	9 2.1	7 1.7
	70歳代	471 100.0	101 21.4	287 60.9	70 14.9	8 1.7	5 1.1
居住地区別	古河地区	683 100.0	92 13.5	369 54.0	194 28.4	26 3.8	2 0.3
	総和地区	560 100.0	67 12.0	301 53.8	164 29.3	24 4.3	4 0.7
	三和地区	412 100.0	57 13.8	235 57.0	99 24.0	16 3.9	5 1.2

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（９）地域住民の支え合いの変化

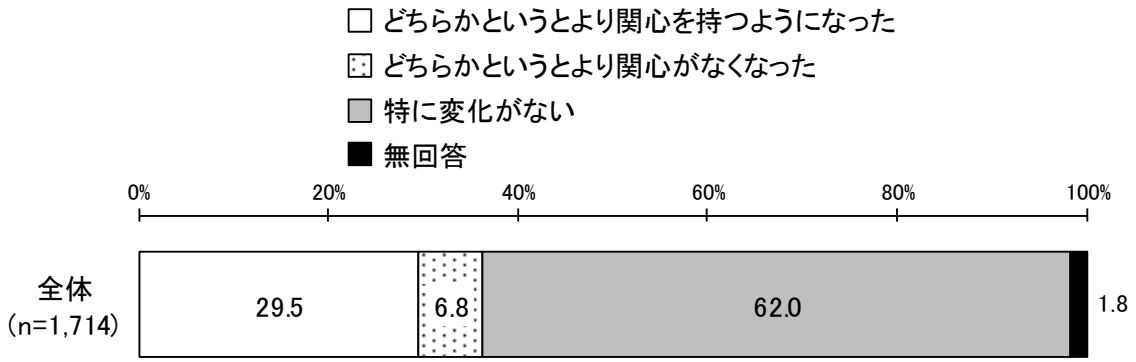
問９　あなたは、地域住民による支え合い助け合いについて、以前と比べて（約５年くらい前と比べて）どのように変化したと感じますか。

地域住民の支え合いの変化については、全体では「特に変化がない」の割合が 62.0％で割合が最も高く、６割以上を占めています。次いで「どちらかというとより関心を持つようになった」(29.5％)、「どちらかというとより関心がなくなった」(6.8％) などの順となっています。

年代別でみると、すべての地区において全体と同様に「特に変化がない」の割合が最も高く、特に 20 歳代は 71.4％と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「特に変化がない」の割合が最も高くなっています。

地域住民の支え合いの変化／全体



地域住民の支え合いの変化／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	どちらかというとより関心を持つようになった	どちらかというとより関心がなくなった	特に変化がない	無回答
全体		1,714 100.0	505 29.5	116 6.8	1,062 62.0	31 1.8
年代別	20歳代	112 100.0	26 23.2	6 5.4	80 71.4	0 0.0
	30歳代	196 100.0	63 32.1	12 6.1	119 60.7	2 1.0
	40歳代	242 100.0	74 30.6	8 3.3	159 65.7	1 0.4
	50歳代	259 100.0	69 26.6	18 6.9	169 65.3	3 1.2
	60歳代	422 100.0	125 29.6	35 8.3	255 60.4	7 1.7
	70歳代	471 100.0	144 30.6	37 7.9	274 58.2	16 3.4
居住地区別	古河地区	683 100.0	212 31.0	42 6.1	420 61.5	9 1.3
	総和地区	560 100.0	167 29.8	39 7.0	345 61.6	9 1.6
	三和地区	412 100.0	112 27.2	31 7.5	260 63.1	9 2.2

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（10）居住地区での地域住民の支え合いの変化

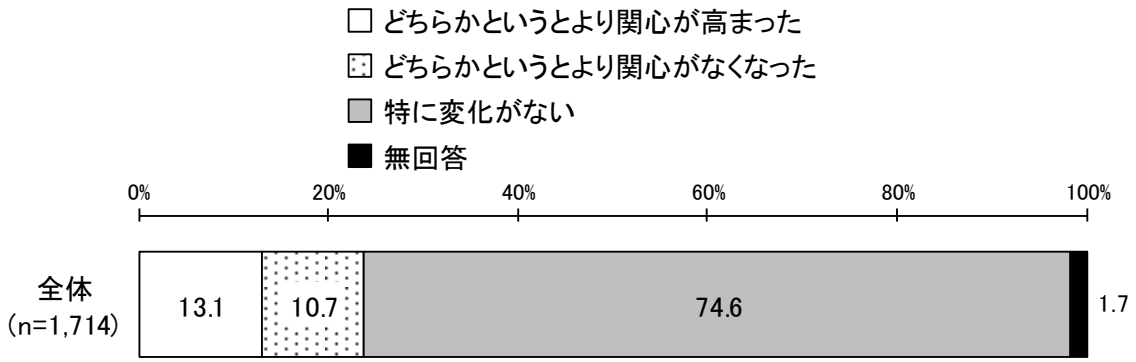
問10　あなたがお住まいの地域では、地域住民による支え合い助け合いについて、以前と比べて（約５年くらい前と比べて）どのように変化したと感じますか。

居住地区での地域住民の支え合いの変化については、全体では「特に変化がない」の割合が 74.6％で割合が最も高く、７割半ばを占めています。次いで「どちらかというとより関心が高まった」(13.1％)、「どちらかというとより関心がなくなった」(10.7％) などの順となっています。

年代別でみると、すべての地区において全体と同様に「特に変化がない」の割合が最も高く、特に 20 歳代は 83.0％と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「特に変化がない」の割合が最も高くなっています。

居住地区での地域住民の支え合いの変化／全体



居住地区での地域住民の支え合いの変化／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	どちらかというとより関心が高まった	どちらかというとより関心がなくなった	特に変化がない	無回答
全体		1,714 100.0	224 13.1	183 10.7	1,278 74.6	29 1.7
年代別	20歳代	112 100.0	9 8.0	8 7.1	93 83.0	2 1.8
	30歳代	196 100.0	27 13.8	19 9.7	147 75.0	3 1.5
	40歳代	242 100.0	29 12.0	20 8.3	191 78.9	2 0.8
	50歳代	259 100.0	30 11.6	30 11.6	195 75.3	4 1.5
	60歳代	422 100.0	54 12.8	56 13.3	306 72.5	6 1.4
	70歳代	471 100.0	74 15.7	48 10.2	337 71.5	12 2.5
居住地区別	古河地区	683 100.0	108 15.8	68 10.0	498 72.9	9 1.3
	総和地区	560 100.0	59 10.5	62 11.1	432 77.1	7 1.3
	三和地区	412 100.0	50 12.1	49 11.9	303 73.5	10 2.4

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（11）地域住民で住みよい地域社会を実現していくうえでの課題

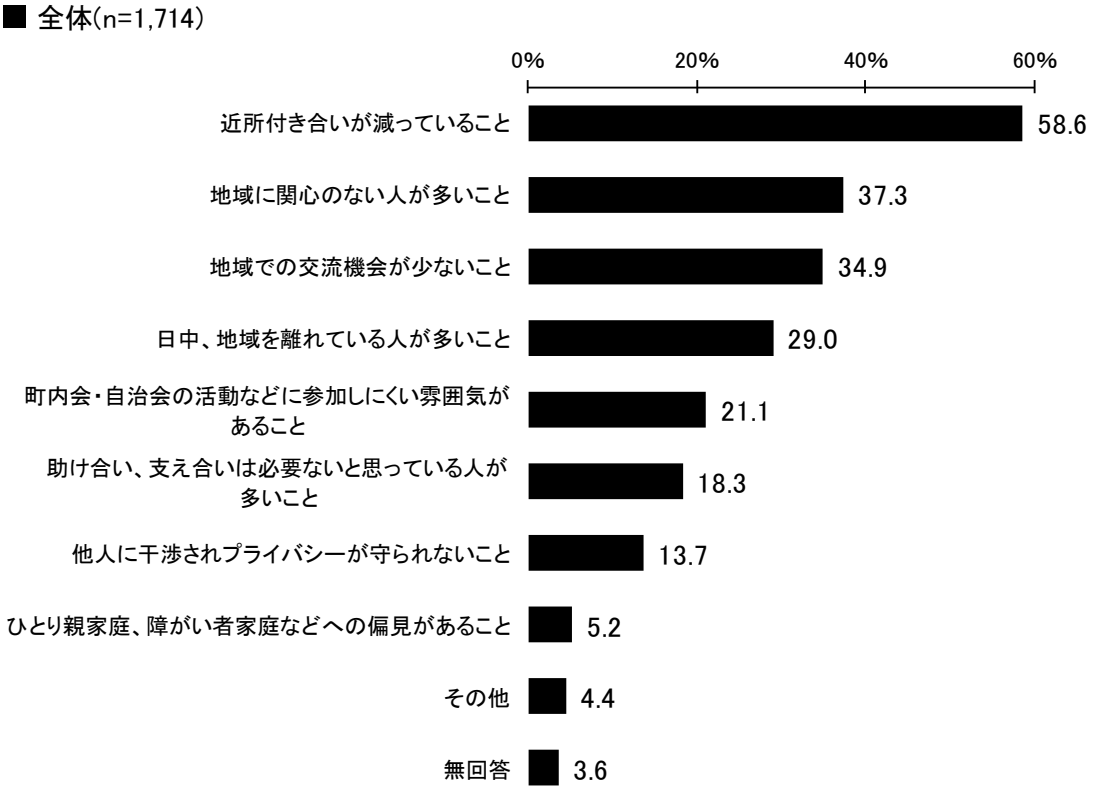
問11　地域の人々がお互い力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで課題となることはどのようなことだと思いますか。**【複数回答】**

地域住民で住みよい地域社会を実現していくうえでの課題については、全体では「近所付き合いが減っていること」の割合が 58.6％で割合が最も高く、次いで「地域に関心のない人が多いこと」（37.3％）、「地域での交流機会が少ないこと」（34.9％）などの順となっています。

年代別でみると、すべての年代において全体と同様に「近所付き合いが減っていること」の割合が最も高くなっています。また、70 歳代は「地域での交流機会が少ないこと」の割合が 47.3％と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「近所付き合いが減っていること」の割合が最も高くなっています。

地域住民で住みよい地域社会を実現していくうえでの課題【複数回答】／全体



地域住民で住みよい地域社会を実現していくうえでの課題【複数回答】
／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	近所付き合いが減っていること	町内会・自治会の活動などに参加しにくい雰囲気があること	ひとり親家庭、障がい者家庭などへの偏見があること	他人に干渉されプライバシーが守られないこと	日中、地域を離れている人が多いこと	地域に関心のない人が多いこと	地域での交流機会が少ないこと	助け合い、支え合いは必要ないと思っている人が多いこと	その他	無回答
全体		1,714	1,004	362	89	234	497	640	599	313	76	61
		100.0	58.6	21.1	5.2	13.7	29.0	37.3	34.9	18.3	4.4	3.6
年代別	20歳代	112	53	27	19	20	31	43	33	21	5	2
		100.0	47.3	24.1	17.0	17.9	27.7	38.4	29.5	18.8	4.5	1.8
	30歳代	196	100	44	16	38	67	83	52	39	14	3
		100.0	51.0	22.4	8.2	19.4	34.2	42.3	26.5	19.9	7.1	1.5
	40歳代	242	126	63	16	47	96	98	49	41	11	5
		100.0	52.1	26.0	6.6	19.4	39.7	40.5	20.2	16.9	4.5	2.1
	50歳代	259	155	58	16	38	91	85	71	54	11	9
		100.0	59.8	22.4	6.2	14.7	35.1	32.8	27.4	20.8	4.2	3.5
	60歳代	422	267	81	12	49	122	158	169	74	16	17
		100.0	63.3	19.2	2.8	11.6	28.9	37.4	40.0	17.5	3.8	4.0
	70歳代	471	297	86	10	41	88	167	223	79	19	25
		100.0	63.1	18.3	2.1	8.7	18.7	35.5	47.3	16.8	4.0	5.3
居住地区別	古河地区	683	407	148	22	87	214	265	250	116	30	19
		100.0	59.6	21.7	3.2	12.7	31.3	38.8	36.6	17.0	4.4	2.8
	総和地区	560	327	118	37	78	160	202	188	107	30	21
		100.0	58.4	21.1	6.6	13.9	28.6	36.1	33.6	19.1	5.4	3.8
	三和地区	412	242	82	26	60	110	158	141	76	11	15
		100.0	58.7	19.9	6.3	14.6	26.7	38.3	34.2	18.4	2.7	3.6

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

３　地域での暮らしや近所での関わりについて

(12) 居住地域での暮らし

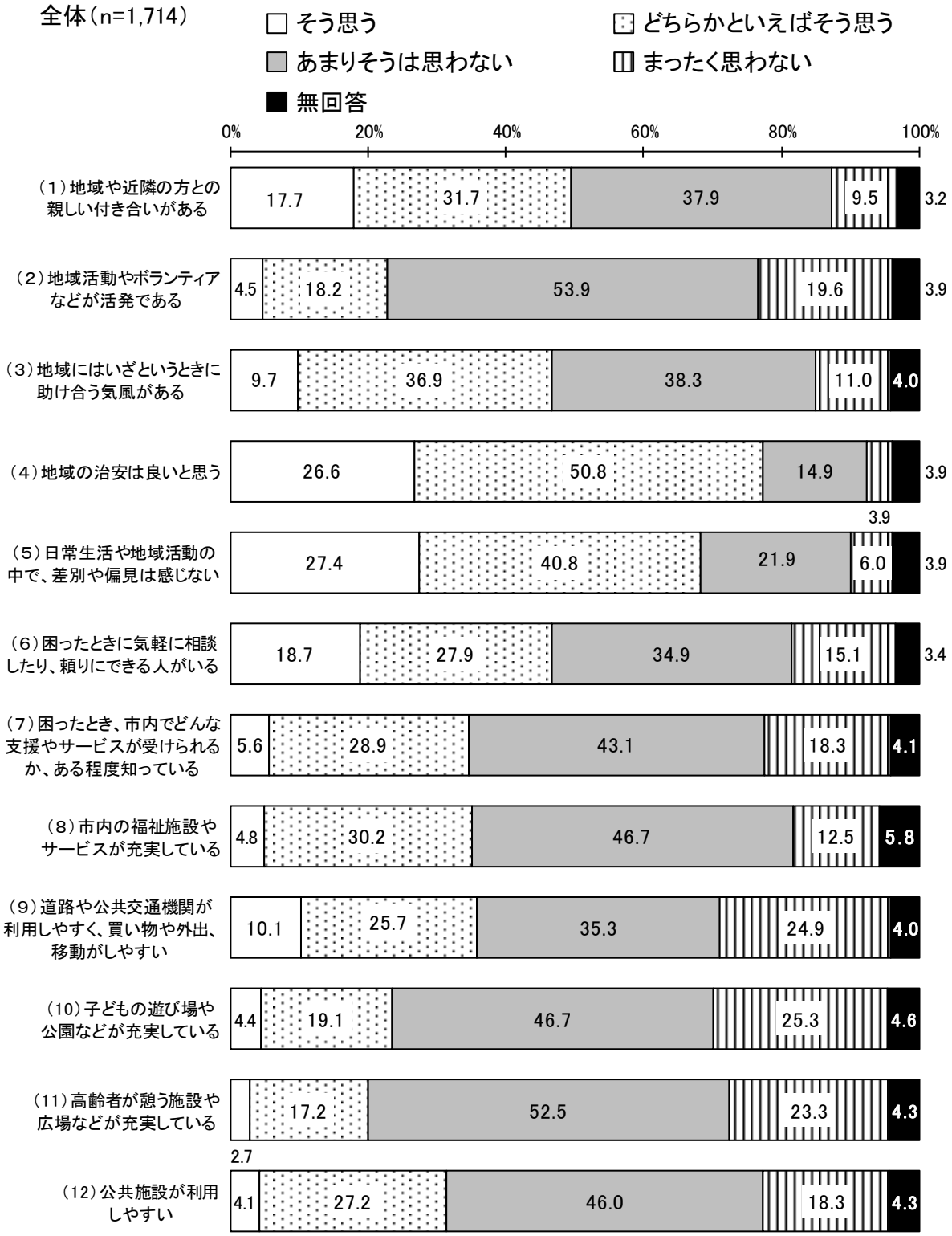
問12　あなたご自身のことやお住まいの地域での暮らしについて、どのように感じていますか。

居住地区の暮らしに関する 12 項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「あまりそうは思わない」「まったく思わない」の４段階でたずねました。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合をみると、『(４) 地域の治安は良いと思う』が 77.4%で最も高く、次いで『(５) 日常生活や地域活動の中で、差別や偏見は感じない』(68.2%)、『(１)地域や近隣の方との親しい付き合いがある』(49.4%) などの順となっています。

一方、「あまりそうは思わない」と「まったく思わない」を合わせた“思わない”の割合をみると、『(11) 高齢者が憩う施設や広場などが充実している』が 75.8%で最も高く、次いで『(２) 地域活動やボランティアなどが活発である』(73.5%)、『(10) 子どもの遊び場や公園などが充実している』(72.0%) などの順となっています。

居住地域での暮らし／全体



(13) 居住地域の暮らしやすさ

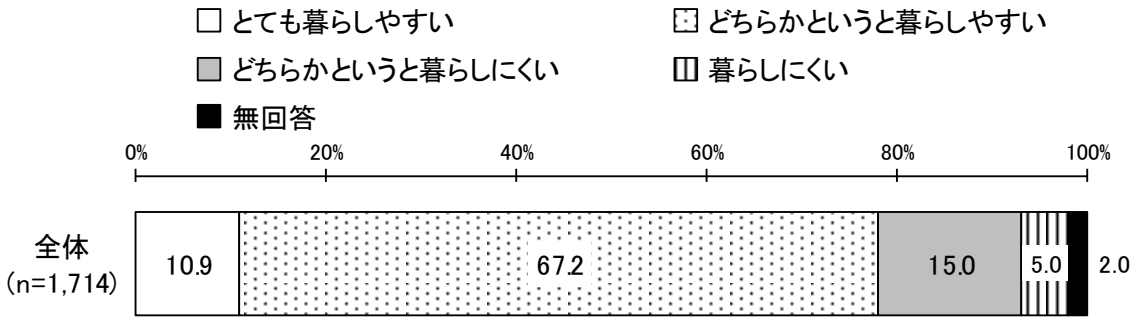
問13　お住まいの地域は暮らしやすいですか。

居住地域の暮らしやすさについては、全体では「とても暮らしやすい」(10.9%) と「どちらかというと暮らしやすい」(67.2%) を合わせた“暮らしやすい”の割合が 78.1%で、「どちらかというと暮らしにくい」(15.0%) と「暮らしにくい」(5.0%) を合わせた“暮らしにくい”(20.0%) の割合を大きく上回っています。

年代別で“暮らしにくい”の割合をみると、30 歳代が 26.5%と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別で“暮らしにくい”の割合をみると、三和地区が 29.1%と他の地区に比べて高くなっています。

居住地域の暮らしやすさ／全体



居住地域の暮らしやすさ／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	とても暮らしやすい	どちらかというと暮らしやすい	どちらかというと暮らしにくい	暮らしにくい	無回答
全体		1,714 100.0	187 10.9	1,151 67.2	257 15.0	85 5.0	34 2.0
年代別	20歳代	112 100.0	15 13.4	72 64.3	17 15.2	7 6.3	1 0.9
	30歳代	196 100.0	22 11.2	120 61.2	39 19.9	13 6.6	2 1.0
	40歳代	242 100.0	24 9.9	156 64.5	45 18.6	15 6.2	2 0.8
	50歳代	259 100.0	23 8.9	175 67.6	41 15.8	16 6.2	4 1.5
	60歳代	422 100.0	38 9.0	294 69.7	60 14.2	17 4.0	13 3.1
	70歳代	471 100.0	62 13.2	327 69.4	54 11.5	17 3.6	11 2.3
居住地区別	古河地区	683 100.0	82 12.0	482 70.6	82 12.0	24 3.5	13 1.9
	総和地区	560 100.0	69 12.3	379 67.7	78 13.9	22 3.9	12 2.1
	三和地区	412 100.0	31 7.5	254 61.7	91 22.1	29 7.0	7 1.7

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(14) 居住地域住民の困りごと

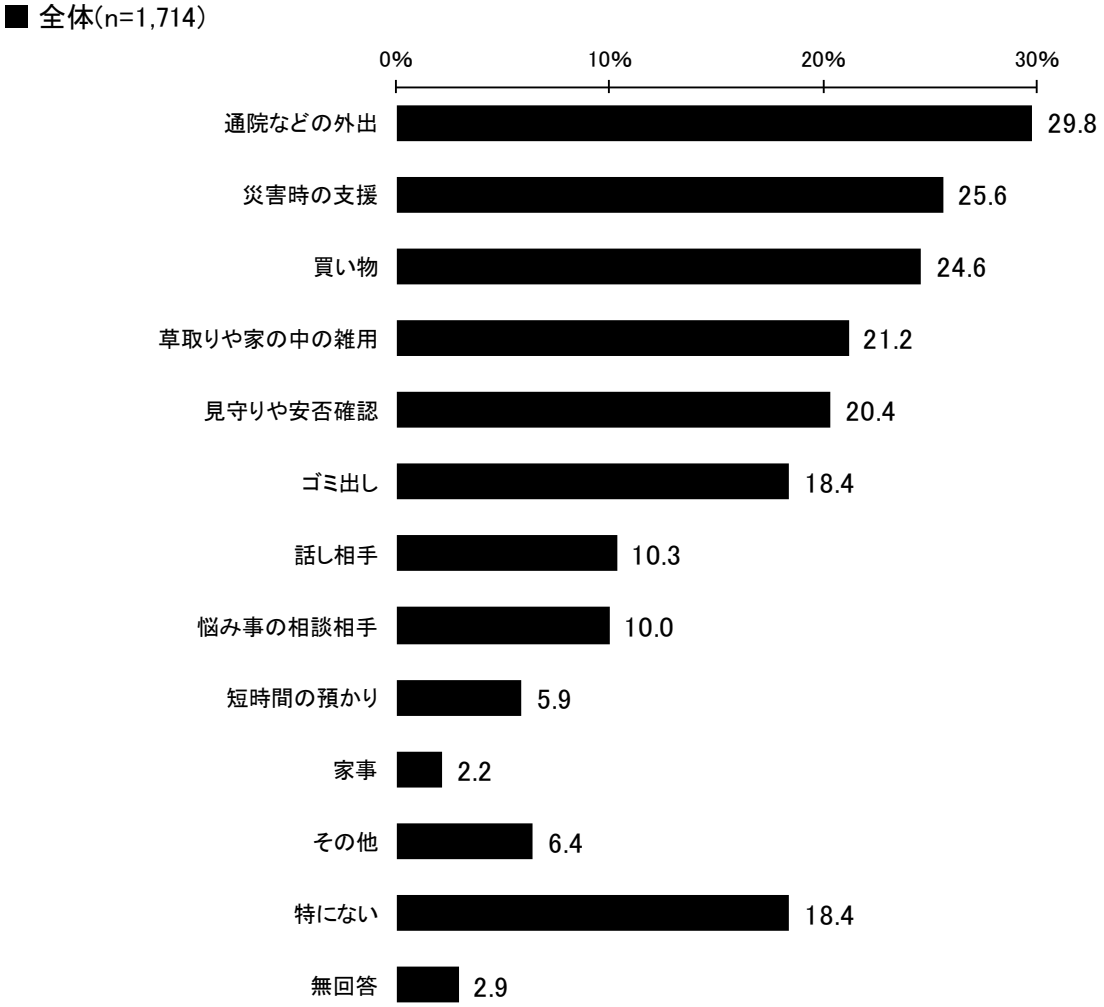
問14　あなたのお住まいの地域住民は、次の項目のうち、どのようなことで困っていると思いますか。**【複数回答】**

居住地域住民の困りごとについては、全体では「通院などの外出」の割合が 29.8%で割合が最も高く、次いで「災害時の支援」(25.6%)、「買い物」(24.6%) などの順となっています。

年代別でみると、30 歳以下の年代は「買い物」、40 歳以上の年代は「通院などの外出」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、古河地区は「災害時の支援」、それ以外の地区は「通院などの外出」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地域住民の困りごと【複数回答】／全体



居住地域住民の困りごと【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	見守りや安否確認	話し相手	買い物	家事	通院などの外出	草取りや家の中の雑用	短時間の預かり
全体		1,714	349	177	422	37	511	363	101
		100.0	20.4	10.3	24.6	2.2	29.8	21.2	5.9
年代別	20歳代	112	25	9	31	2	26	22	10
		100.0	22.3	8.0	27.7	1.8	23.2	19.6	8.9
	30歳代	196	41	11	62	3	57	35	32
		100.0	20.9	5.6	31.6	1.5	29.1	17.9	16.3
	40歳代	242	56	23	54	2	68	54	19
		100.0	23.1	9.5	22.3	0.8	28.1	22.3	7.9
	50歳代	259	54	25	65	6	81	65	14
		100.0	20.8	9.7	25.1	2.3	31.3	25.1	5.4
	60歳代	422	85	38	92	11	120	98	13
		100.0	20.1	9.0	21.8	2.6	28.4	23.2	3.1
	70歳代	471	86	70	114	12	156	88	11
		100.0	18.3	14.9	24.2	2.5	33.1	18.7	2.3
居住地区別	古河地区	683	120	68	165	18	174	123	37
		100.0	17.6	10.0	24.2	2.6	25.5	18.0	5.4
	総和地区	560	133	53	108	8	151	140	38
		100.0	23.8	9.5	19.3	1.4	27.0	25.0	6.8
	三和地区	412	86	50	134	9	168	90	21
		100.0	20.9	12.1	32.5	2.2	40.8	21.8	5.1

		合計	災害時の支援	悩み事の相談相手	ゴミ出し	その他	特にない	無回答
全体		1,714	439	171	316	110	316	50
		100.0	25.6	10.0	18.4	6.4	18.4	2.9
年代別	20歳代	112	26	12	14	7	22	3
		100.0	23.2	10.7	12.5	6.3	19.6	2.7
	30歳代	196	48	16	35	13	39	4
		100.0	24.5	8.2	17.9	6.6	19.9	2.0
	40歳代	242	66	25	43	19	41	6
		100.0	27.3	10.3	17.8	7.9	16.9	2.5
	50歳代	259	80	27	53	23	39	3
		100.0	30.9	10.4	20.5	8.9	15.1	1.2
	60歳代	422	103	46	82	23	80	12
		100.0	24.4	10.9	19.4	5.5	19.0	2.8
	70歳代	471	114	45	86	25	92	22
		100.0	24.2	9.6	18.3	5.3	19.5	4.7
居住地区別	古河地区	683	207	74	131	46	126	23
		100.0	30.3	10.8	19.2	6.7	18.4	3.4
	総和地区	560	139	53	106	36	120	10
		100.0	24.8	9.5	18.9	6.4	21.4	1.8
	三和地区	412	78	36	70	23	61	14
		100.0	18.9	8.7	17.0	5.6	14.8	3.4

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（15）近隣住民との付き合い

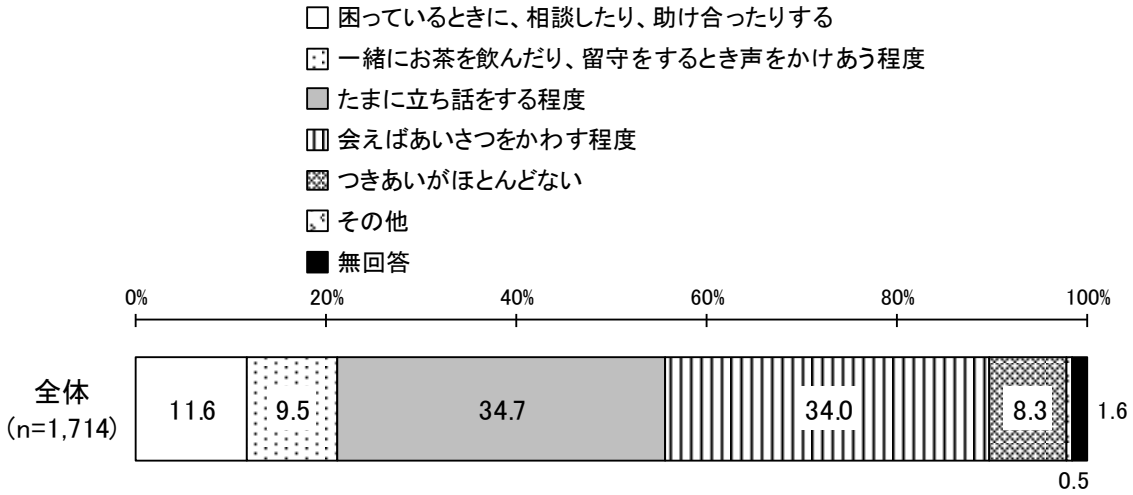
問15　あなたとご近所の人（名前や顔を知っている人）とのお付き合いの程度は、現状ではどれくらいですか。

近隣住民との付き合いについては、全体では「たまに立ち話をする程度」の割合が 34.7%で割合が最も高く、次いで「会えばあいさつをかわす程度」（34.0%）、「困っているときに、相談したり、助け合ったりする」（11.6%）などの順となっています。

年代別でみると、50 歳代以下の年代は「会えばあいさつをかわす程度」、60 歳代以上の年代は「たまに立ち話をする程度」の割合がそれぞれ最も高くなっています。また、20 歳代は「つきあいがほとんどない」の割合が 29.5%と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別でみると、古河地区は「会えばあいさつをかわす程度」（37.6%）、三和地区は「たまに立ち話をする程度」（36.2%）、総和地区は「たまに立ち話をする程度」「会えばあいさつをかわす程度」（同率 34.3%）の割合がそれぞれ最も高くなっています。

近隣住民との付き合い／全体



近隣住民との付き合い／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	困っているときに、相談したり、助け合ったりする	一緒にお茶を飲んだり、留守をするとき声をかけあう程度	たまに立ち話をする程度	会えばあいさつをかわす程度	つきあいがほとんどない	その他	無回答
全体		1,714	199	162	594	582	142	8	27
		100.0	11.6	9.5	34.7	34.0	8.3	0.5	1.6
年代別	20歳代	112	6	4	15	53	33	0	1
		100.0	5.4	3.6	13.4	47.3	29.5	0.0	0.9
	30歳代	196	7	7	48	93	39	2	0
		100.0	3.6	3.6	24.5	47.4	19.9	1.0	0.0
	40歳代	242	22	13	72	107	24	1	3
		100.0	9.1	5.4	29.8	44.2	9.9	0.4	1.2
	50歳代	259	28	17	96	99	14	3	2
		100.0	10.8	6.6	37.1	38.2	5.4	1.2	0.8
	60歳代	422	53	45	181	115	19	0	9
		100.0	12.6	10.7	42.9	27.3	4.5	0.0	2.1
	70歳代	471	82	74	177	111	13	2	12
		100.0	17.4	15.7	37.6	23.6	2.8	0.4	2.5
居住地区別	古河地区	683	64	59	237	257	55	3	8
		100.0	9.4	8.6	34.7	37.6	8.1	0.4	1.2
	総和地区	560	74	49	192	192	39	4	10
		100.0	13.2	8.8	34.3	34.3	7.0	0.7	1.8
	三和地区	412	58	45	149	118	35	0	7
		100.0	14.1	10.9	36.2	28.6	8.5	0.0	1.7

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(16) 困っている近隣住民への手助け

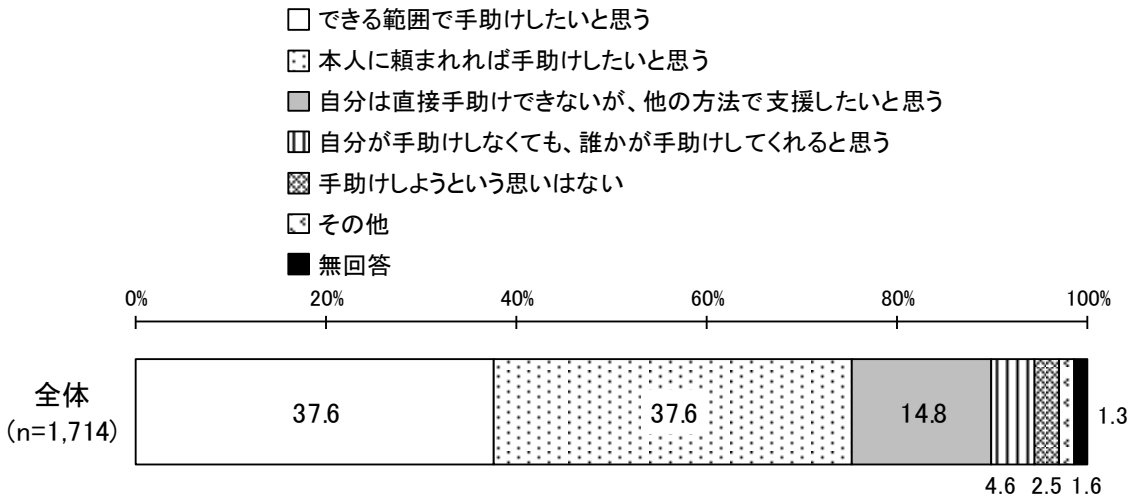
問16　あなたはご近所の人（名前や顔を知っている人）が高齢、障がい、子育て、病気、貧困、災害などで困っていることを知ったとき、その人への手助けについてどのように思いますか。

困っている近隣住民への手助けについては、全体では「できる範囲で手助けしたいと思う」「本人に頼まれれば手助けしたいと思う」（同率 37.6%）の割合が最も高く、次いで「自分は直接手助けできないが、他の方法で支援したいと思う」(14.8%)、「自分が手助けしなくても、誰かが手助けしてくれると思う」(4.6%) などの順となっています。

年代別でみると、60 歳代以下の年代は「本人に頼まれれば手助けしたいと思う」の割合が最も高く、20 歳代は「できる範囲で手助けしたいと思う」の割合も同率で最も高くなっています。70 歳代は「できる範囲で手助けしたいと思う」の割合が最も高くなっています。

居住地区別でみると、総和地区は「本人に頼まれれば手助けしたいと思う」、それ以外の地区は「できる範囲で手助けしたいと思う」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

困っている近隣住民への手助け／全体



困っている近隣住民への手助け／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	できる範囲で手助けしたいと思う	本人に頼まれれば手助けしたいと思う	自分は直接手助けできないが、他の方法で支援したいと思う	自分が手助けしなくても、誰かが手助けしてくれると思う	手助けしようという思いはない	その他	無回答
全体		1,714 100.0	645 37.6	644 37.6	254 14.8	78 4.6	43 2.5	28 1.6	22 1.3
年代別	20歳代	112 100.0	41 36.6	41 36.6	15 13.4	9 8.0	4 3.6	1 0.9	1 0.9
	30歳代	196 100.0	49 25.0	73 37.2	42 21.4	16 8.2	11 5.6	5 2.6	0 0.0
	40歳代	242 100.0	83 34.3	91 37.6	39 16.1	10 4.1	11 4.5	5 2.1	3 1.2
	50歳代	259 100.0	92 35.5	101 39.0	47 18.1	15 5.8	2 0.8	1 0.4	1 0.4
	60歳代	422 100.0	160 37.9	180 42.7	48 11.4	17 4.0	5 1.2	5 1.2	7 1.7
	70歳代	471 100.0	212 45.0	157 33.3	62 13.2	10 2.1	10 2.1	11 2.3	9 1.9
居住地区別	古河地区	683 100.0	255 37.3	254 37.2	101 14.8	35 5.1	18 2.6	12 1.8	8 1.2
	総和地区	560 100.0	211 37.7	221 39.5	81 14.5	19 3.4	15 2.7	8 1.4	5 0.9
	三和地区	412 100.0	161 39.1	149 36.2	63 15.3	24 5.8	7 1.7	2 0.5	6 1.5

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(17) 困った状態になった際の近隣住民からの手助け

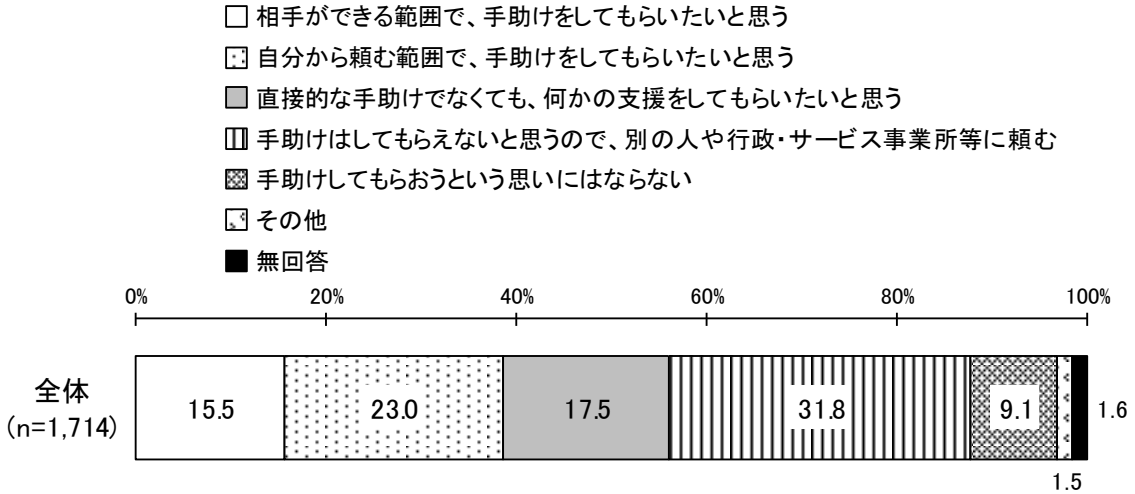
問17　もし、あなたが高齢、障がい、ひとり暮らし、子育て、病気、貧困、災害などで困った状態になったとしたら、ご近所の人（名前や顔を知っている人）からの手助けについてどのように思いますか。

困った状態になった際の近隣住民からの手助けについては、全体では「手助けはしてもらえないと思うので、別の人や行政・サービス事業所等に頼む」の割合が 31.8％で割合が最も高く、次いで「自分から頼む範囲で、手助けをしてもらいたいと思う」(23.0％)、「直接的な手助けでなくても､何かの支援をしてもらいたいと思う」(17.5％)などの順となっています。

年代別でみると、20 歳代は「相手ができる範囲で、手助けをしてもらいたいと思う」の割合が 24.1％で最も高くなっています。それ以外の年代は「手助けはしてもらえないと思うので、別の人や行政・サービス事業所等に頼む」の割合が最も高く、いずれも３割を超えています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「手助けはしてもらえないと思うので、別の人や行政・サービス事業所等に頼む」の割合が最も高くなっています。

困った状態になった際の近隣住民からの手助け／全体



困った状態になった際の近隣住民からの手助け／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	相手ができる範囲で、手助けをしてもらいたいと思う	自分から頼む範囲で、手助けをしてもらいたいと思う	直接的な手助けでなく、何かの支援をしてもらいたいと思う	手助けはしてもらえないと思うので、別の人や行政・サービス事業所等に頼む	手助けしてもらおうという思いにはならない	その他	無回答
全体		1,714	266	395	300	545	156	25	27
		100.0	15.5	23.0	17.5	31.8	9.1	1.5	1.6
年代別	20歳代	112	27	26	17	20	16	3	3
		100.0	24.1	23.2	15.2	17.9	14.3	2.7	2.7
	30歳代	196	24	36	48	59	27	2	0
		100.0	12.2	18.4	24.5	30.1	13.8	1.0	0.0
	40歳代	242	43	43	42	85	25	3	1
		100.0	17.8	17.8	17.4	35.1	10.3	1.2	0.4
	50歳代	259	26	64	40	91	34	3	1
		100.0	10.0	24.7	15.4	35.1	13.1	1.2	0.4
	60歳代	422	51	110	72	144	29	6	10
		100.0	12.1	26.1	17.1	34.1	6.9	1.4	2.4
	70歳代	471	91	113	80	143	25	8	11
		100.0	19.3	24.0	17.0	30.4	5.3	1.7	2.3
居住地区別	古河地区	683	96	158	127	219	62	13	8
		100.0	14.1	23.1	18.6	32.1	9.1	1.9	1.2
	総和地区	560	86	129	108	175	52	3	7
		100.0	15.4	23.0	19.3	31.3	9.3	0.5	1.3
	三和地区	412	76	97	57	128	38	6	10
		100.0	18.4	23.5	13.8	31.1	9.2	1.5	2.4

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(18) 困っている近隣住民にできる手助け

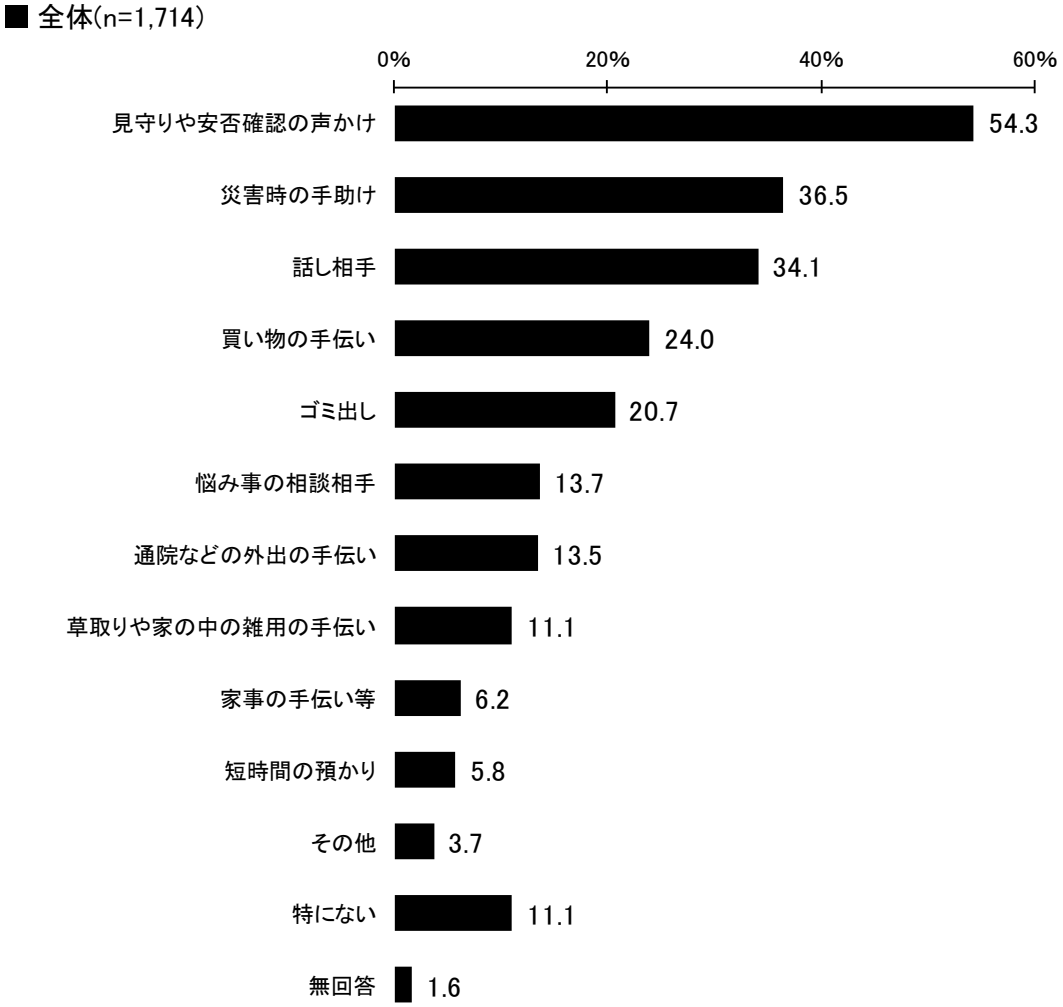
問18　ご近所に、高齢、障がい、ひとり暮らし、子育て、病気、貧困、災害などで困っている家庭があることを知ったとき、あなたはどのような手助けができますか。**【複数回答】**

困っている近隣住民にできる手助けについては、全体では「見守りや安否確認の声かけ」の割合が 54.3%で割合が最も高く、次いで「災害時の手助け」(36.5%)、「話し相手」(34.1%)などの順となっています。なお、「特にない」の割合は 11.1%となっています。

年代別にみると、すべての年代で「見守りや安否確認の声かけ」の割合が最も高くなっており、特に 50 歳代は 59.8%と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「見守りや安否確認の声かけ」の割合が最も高くなっています。また、古河地区は「ゴミ出し」の割合が 24.3%と他の地区に比べて高くなっています。

困っている近隣住民にできる手助け【複数回答】／全体



困っている近隣住民にできる手助け【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	見守りや安否確認の声かけ	話し相手	買い物の手伝い	家事の手伝い等	通院などの外出の手伝い	草取りや家の中の雑用の手伝い	短時間の預かり
全体		1,714	931	584	411	106	231	190	99
		100.0	54.3	34.1	24.0	6.2	13.5	11.1	5.8
年代別	20歳代	112	49	40	26	12	10	14	5
		100.0	43.8	35.7	23.2	10.7	8.9	12.5	4.5
	30歳代	196	96	71	43	9	16	16	18
		100.0	49.0	36.2	21.9	4.6	8.2	8.2	9.2
	40歳代	242	130	74	62	12	24	22	18
		100.0	53.7	30.6	25.6	5.0	9.9	9.1	7.4
	50歳代	259	155	77	57	16	25	26	14
		100.0	59.8	29.7	22.0	6.2	9.7	10.0	5.4
	60歳代	422	242	132	118	27	68	56	22
		100.0	57.3	31.3	28.0	6.4	16.1	13.3	5.2
	70歳代	471	254	185	102	28	85	53	21
		100.0	53.9	39.3	21.7	5.9	18.0	11.3	4.5
居住地区別	古河地区	683	373	216	177	32	90	71	37
		100.0	54.6	31.6	25.9	4.7	13.2	10.4	5.4
	総和地区	560	318	201	137	42	79	62	37
		100.0	56.8	35.9	24.5	7.5	14.1	11.1	6.6
	三和地区	412	215	148	87	28	54	47	20
		100.0	52.2	35.9	21.1	6.8	13.1	11.4	4.9

		合計	災害時の手助け	悩み事の相談相手	ゴミ出し	その他	特にない	無回答
全体		1,714	626	234	354	63	190	28
		100.0	36.5	13.7	20.7	3.7	11.1	1.6
年代別	20歳代	112	47	23	21	2	21	2
		100.0	42.0	20.5	18.8	1.8	18.8	1.8
	30歳代	196	68	28	28	7	33	0
		100.0	34.7	14.3	14.3	3.6	16.8	0.0
	40歳代	242	97	30	42	7	36	2
		100.0	40.1	12.4	17.4	2.9	14.9	0.8
	50歳代	259	99	37	64	14	24	1
		100.0	38.2	14.3	24.7	5.4	9.3	0.4
	60歳代	422	169	54	99	16	40	8
		100.0	40.0	12.8	23.5	3.8	9.5	1.9
	70歳代	471	145	62	98	17	35	14
		100.0	30.8	13.2	20.8	3.6	7.4	3.0
居住地区別	古河地区	683	261	99	166	18	83	7
		100.0	38.2	14.5	24.3	2.6	12.2	1.0
	総和地区	560	218	85	98	23	58	8
		100.0	38.9	15.2	17.5	4.1	10.4	1.4
	三和地区	412	134	46	76	16	43	9
		100.0	32.5	11.2	18.4	3.9	10.4	2.2

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(19) 困った際に近隣住民にしてほしい手助け

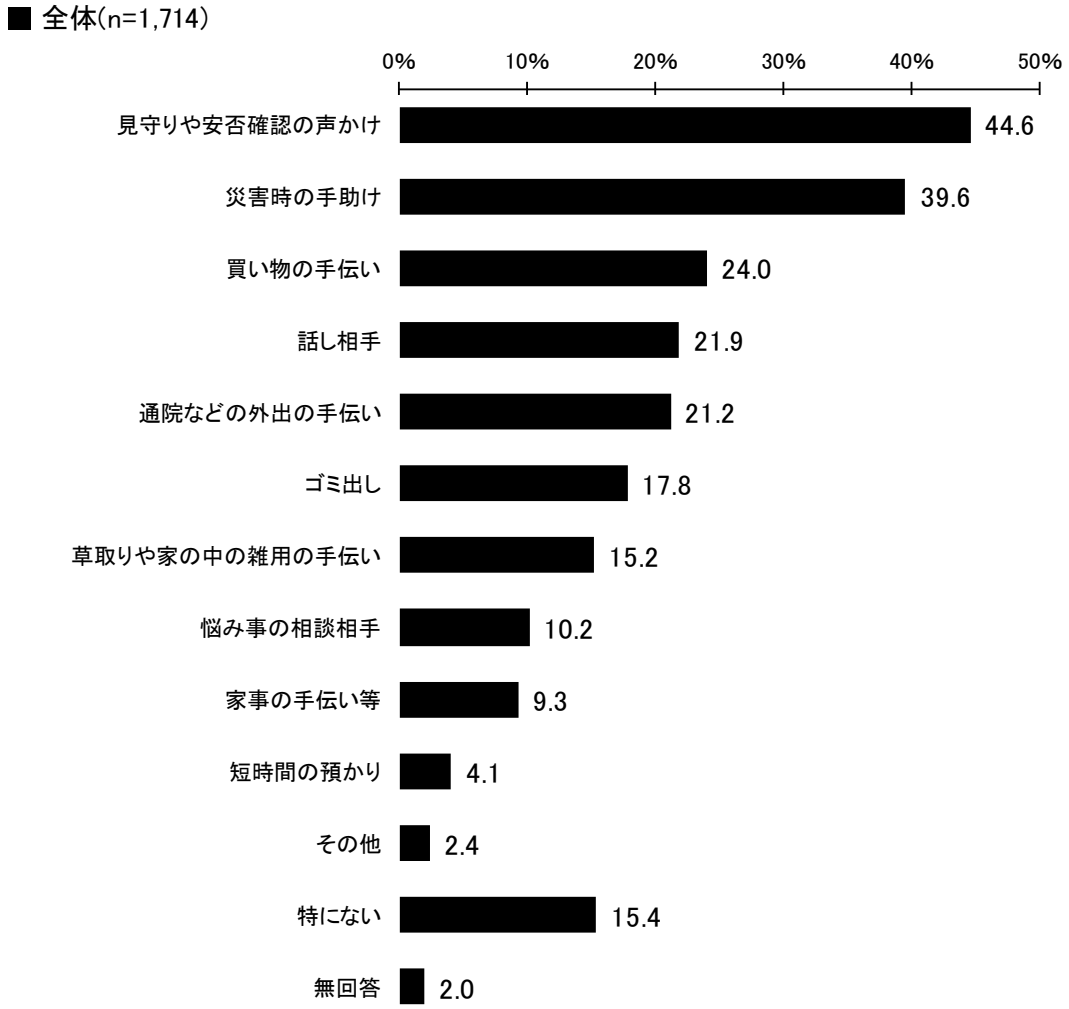
問19　もし、あなたが高齢、障がい、ひとり暮らし、子育て、病気、貧困、災害など困った状態になったとしたら、ご近所に手助けしてほしいと思うのはどんなことですか。
【複数回答】

困った際に近隣住民にしてほしい手助けについては、全体では「見守りや安否確認の声かけ」の割合が44.6%で割合が最も高く、次いで「災害時の手助け」(39.6%)、「買い物の手伝い」(24.0%) などの順となっています。

年代別でみると、30歳代以下の年代は「災害時の手助け」、40歳代以上の年代は「見守りや安否確認の声かけ」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「見守りや安否確認の声かけ」の割合が最も高くなっています。また、三和地区は「通院などの外出の手伝い」の割合が24.8%と他の地区に比べて高くなっています。

困った際に近隣住民にしてほしい手助け【複数回答】／全体



困った際に近隣住民にしてほしい手助け【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	見守りや安否確認の声かけ	話し相手	買い物の手伝い	家事の手伝い等	通院などの外出の手伝い	草取りや家の中の雑用の手伝い	短時間の預かり
全体		1,714	764	375	412	159	363	261	70
		100.0	44.6	21.9	24.0	9.3	21.2	15.2	4.1
年代別	20歳代	112	43	27	19	10	19	17	12
		100.0	38.4	24.1	17.0	8.9	17.0	15.2	10.7
	30歳代	196	69	44	45	22	30	23	20
		100.0	35.2	22.4	23.0	11.2	15.3	11.7	10.2
	40歳代	242	103	50	59	21	43	34	15
		100.0	42.6	20.7	24.4	8.7	17.8	14.0	6.2
	50歳代	259	115	48	49	27	41	34	4
		100.0	44.4	18.5	18.9	10.4	15.8	13.1	1.5
	60歳代	422	211	80	113	33	99	76	10
		100.0	50.0	19.0	26.8	7.8	23.5	18.0	2.4
	70歳代	471	219	124	123	44	126	75	9
		100.0	46.5	26.3	26.1	9.3	26.8	15.9	1.9
居住地区別	古河地区	683	304	148	182	53	136	89	24
		100.0	44.5	21.7	26.6	7.8	19.9	13.0	3.5
	総和地区	560	269	124	124	56	109	94	24
		100.0	48.0	22.1	22.1	10.0	19.5	16.8	4.3
	三和地区	412	170	94	92	41	102	67	20
		100.0	41.3	22.8	22.3	10.0	24.8	16.3	4.9

		合計	災害時の手助け	悩み事の相談相手	ゴミ出し	その他	特にない	無回答
全体		1,714	678	174	305	41	264	34
		100.0	39.6	10.2	17.8	2.4	15.4	2.0
年代別	20歳代	112	53	21	11	2	31	2
		100.0	47.3	18.8	9.8	1.8	27.7	1.8
	30歳代	196	79	22	23	3	43	0
		100.0	40.3	11.2	11.7	1.5	21.9	0.0
	40歳代	242	96	26	29	4	49	4
		100.0	39.7	10.7	12.0	1.7	20.2	1.7
	50歳代	259	112	33	42	8	44	3
		100.0	43.2	12.7	16.2	3.1	17.0	1.2
	60歳代	422	164	34	99	11	48	8
		100.0	38.9	8.1	23.5	2.6	11.4	1.9
	70歳代	471	171	38	96	13	47	15
		100.0	36.3	8.1	20.4	2.8	10.0	3.2
居住地区別	古河地区	683	288	66	116	16	105	14
		100.0	42.2	9.7	17.0	2.3	15.4	2.0
	総和地区	560	222	61	100	12	86	9
		100.0	39.6	10.9	17.9	2.1	15.4	1.6
	三和地区	412	147	43	76	9	67	9
		100.0	35.7	10.4	18.4	2.2	16.3	2.2

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(20) 市民同士がともに支え合う地域づくりを進めるために必要なこと

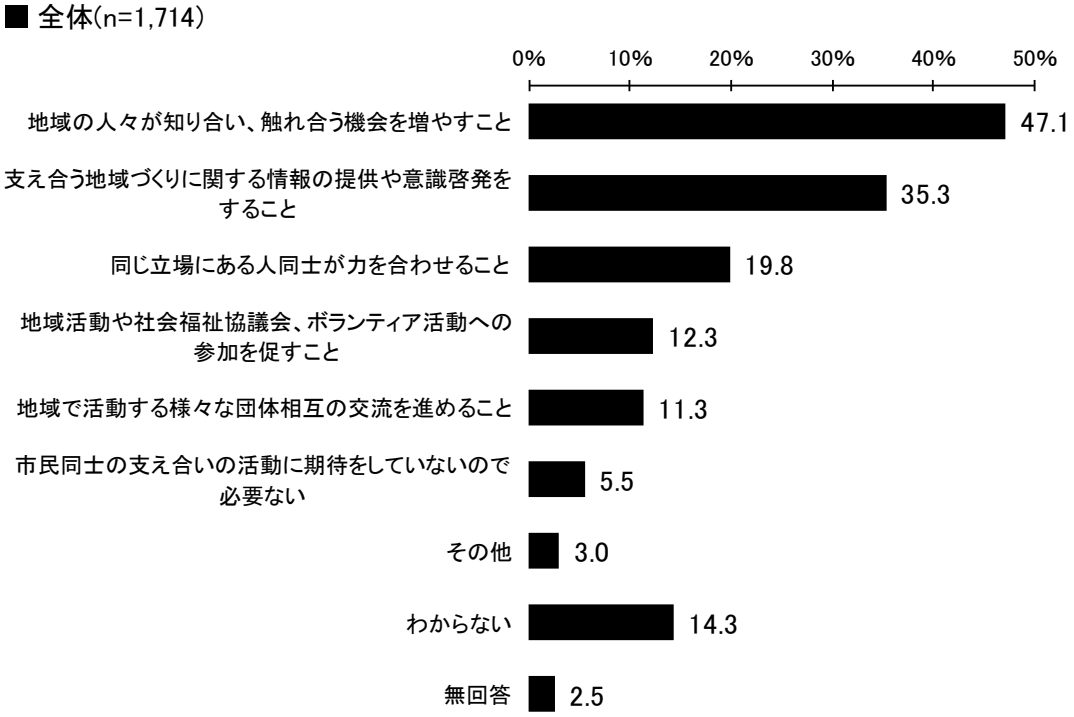
問20　市民同士がともに支え合う地域づくりを進めるために、どのようなことを行う必要があると思いますか。**【複数回答】**

市民同士がともに支え合う地域づくりを進めるために必要なことについては、全体では「地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」の割合が 47.1%で割合が最も高く、次いで「支え合う地域づくりに関する情報の提供や意識啓発をすること」(35.3%)、「同じ立場にある人同士が力を合わせること」(19.8%) などの順となっています。

年代別にみると、50 歳代は「支え合う地域づくりに関する情報の提供や意識啓発をすること」、それ以外の年代は「地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと」の割合が最も高くなっています。

市民同士がともに支え合う地域づくりを進めるために必要なこと【複数回答】／全体



市民同士がともに支え合う地域づくりを進めるために必要なこと【複数回答】
／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	地域の人々が知り合い、触れ合う機会を増やすこと	同じ立場にある人同士が力を合わせること	支え合う地域づくりに関する情報の提供やすること意識啓発をすること	地域活動や社会福祉協議会、ボランティア活動への参加を促すこと	地域で活動する様々な団体相互の交流を進めること	市民同士の支え合いの活動に期待をしていないので必要ない	その他	わからない	無回答
全体		1,714	808	340	605	211	194	94	51	245	43
		100.0	47.1	19.8	35.3	12.3	11.3	5.5	3.0	14.3	2.5
年代別	20歳代	112	50	22	35	8	12	11	1	20	2
		100.0	44.6	19.6	31.3	7.1	10.7	9.8	0.9	17.9	1.8
	30歳代	196	78	38	61	14	19	19	9	34	1
		100.0	39.8	19.4	31.1	7.1	9.7	9.7	4.6	17.3	0.5
	40歳代	242	96	50	79	25	19	16	14	46	2
		100.0	39.7	20.7	32.6	10.3	7.9	6.6	5.8	19.0	0.8
	50歳代	259	98	54	101	32	30	19	7	39	3
		100.0	37.8	20.8	39.0	12.4	11.6	7.3	2.7	15.1	1.2
	60歳代	422	213	64	172	64	50	17	8	55	16
		100.0	50.5	15.2	40.8	15.2	11.8	4.0	1.9	13.0	3.8
	70歳代	471	267	110	152	67	63	12	12	50	17
		100.0	56.7	23.4	32.3	14.2	13.4	2.5	2.5	10.6	3.6
居住地区別	古河地区	683	325	129	257	78	81	29	23	96	15
		100.0	47.6	18.9	37.6	11.4	11.9	4.2	3.4	14.1	2.2
	総和地区	560	252	114	197	72	64	31	20	84	14
		100.0	45.0	20.4	35.2	12.9	11.4	5.5	3.6	15.0	2.5
	三和地区	412	202	90	133	56	44	28	6	56	8
		100.0	49.0	21.8	32.3	13.6	10.7	6.8	1.5	13.6	1.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(21) 地域福祉活動への参加状況

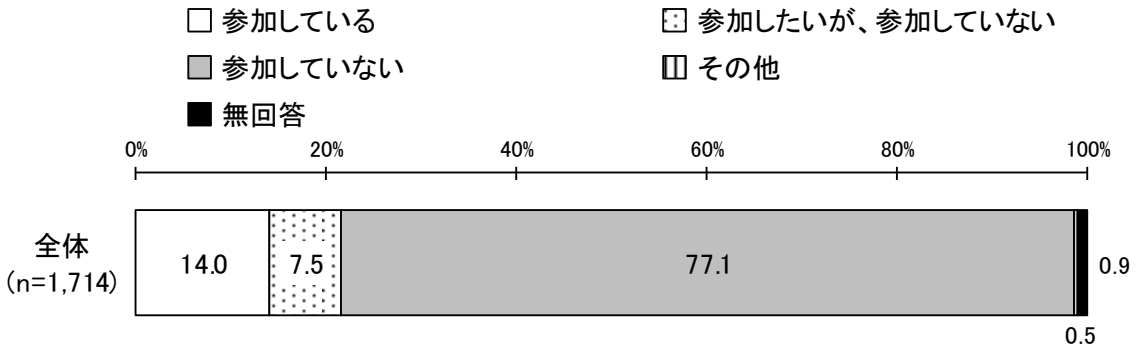
問21　あなたは現在、地域福祉に関する活動に参加していますか。

地域福祉活動への参加状況については、全体では「参加していない」の割合が 77.1%で割合が最も高く、7割以上を占めています。次いで「参加している」(14.0%)、「参加したいが、参加していない」(7.5%) などの順となっています。

年代別で「参加している」の割合をみると、年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向にあります。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「参加していない」の割合が最も高くなっています。

地域福祉活動への参加状況／全体



地域福祉活動への参加状況／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	参加している	参加したいが、参加していない	参加していない	その他	無回答
全体		1,714 100.0	240 14.0	129 7.5	1,322 77.1	8 0.5	15 0.9
年代別	20歳代	112 100.0	5 4.5	10 8.9	96 85.7	0 0.0	1 0.9
	30歳代	196 100.0	19 9.7	11 5.6	165 84.2	1 0.5	0 0.0
	40歳代	242 100.0	27 11.2	16 6.6	196 81.0	0 0.0	3 1.2
	50歳代	259 100.0	31 12.0	22 8.5	203 78.4	1 0.4	2 0.8
	60歳代	422 100.0	61 14.5	33 7.8	325 77.0	0 0.0	3 0.7
	70歳代	471 100.0	97 20.6	37 7.9	326 69.2	6 1.3	5 1.1
居住地区別	古河地区	683 100.0	100 14.6	58 8.5	517 75.7	4 0.6	4 0.6
	総和地区	560 100.0	83 14.8	34 6.1	438 78.2	0 0.0	5 0.9
	三和地区	412 100.0	55 13.3	33 8.0	316 76.7	3 0.7	5 1.2

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（22）地域福祉活動への参加形態

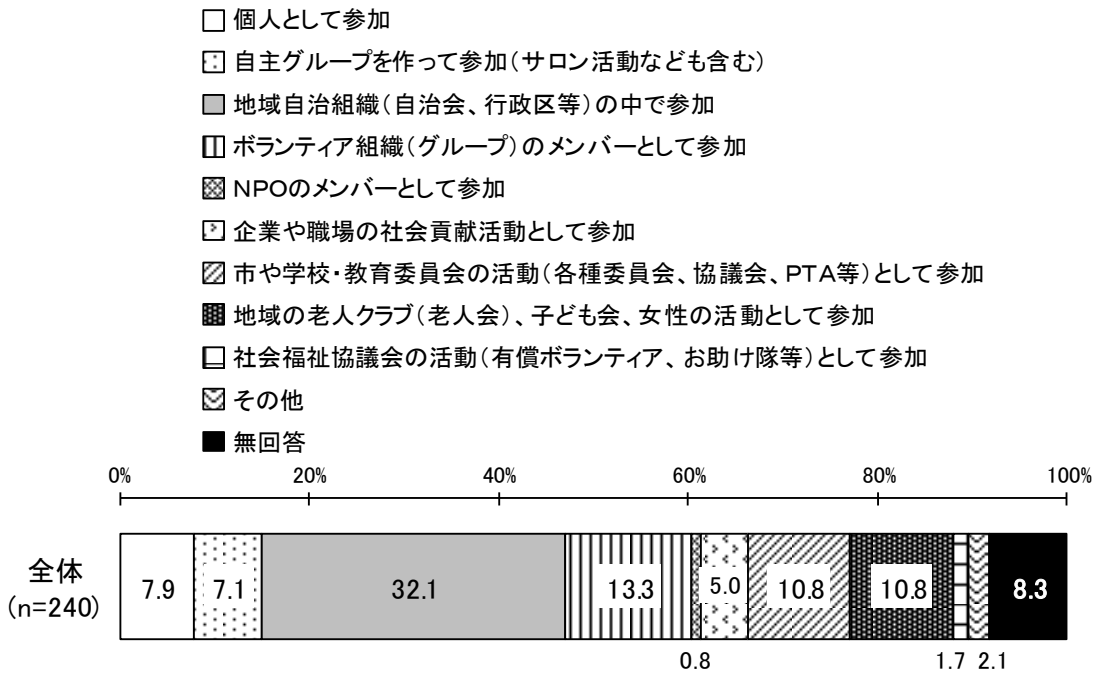
問21で「参加している」と答えた方におたずねします。
問21－１　その活動は、どんな形態によるものですか。

地域福祉活動への参加形態については、全体では「地域自治組織（自治会、行政区等）の中で参加」の割合が 32.1％で割合が最も高く、次いで「ボランティア組織（グループ）のメンバーとして参加」（13.3％）、「市や学校・教育委員会の活動（各種委員会、協議会、ＰＴＡ等）として参加」（10.8％）などの順となっています。

年代別でみると、すべての地区において全体と同様に「地域自治組織（自治会、行政区等）の中で参加」の割合が同率を含め最も高くなっており、特に 50 歳代は 45.2％と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「地域自治組織（自治会、行政区等）の中で参加」の割合が最も高くなっています。また、総和地区は「市や学校・教育委員会の活動（各種委員会、協議会、ＰＴＡ等）として参加」の割合が 19.3％と他の地区に比べて高くなっています。

地域福祉活動への参加形態／全体



地域福祉活動への参加形態／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	個人として参加	自主グループを作って参加（サロン活動なども含む）	地域自治組織（自治会、行政区等）の中で参加	ボランティア組織（グループ）のメンバーとして参加	NPOのメンバーとして参加	企業や職場の社会貢献活動として参加
全体		240 100.0	19 7.9	17 7.1	77 32.1	32 13.3	2 0.8	12 5.0
年代別	20歳代	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0
	30歳代	19 100.0	0 0.0	1 5.3	5 26.3	2 10.5	0 0.0	2 10.5
	40歳代	27 100.0	0 0.0	0 0.0	7 25.9	1 3.7	2 7.4	3 11.1
	50歳代	31 100.0	2 6.5	0 0.0	14 45.2	6 19.4	0 0.0	3 9.7
	60歳代	61 100.0	4 6.6	5 8.2	23 37.7	8 13.1	0 0.0	2 3.3
	70歳代	97 100.0	12 12.4	11 11.3	27 27.8	14 14.4	0 0.0	1 1.0
居住地区別	古河地区	100 100.0	9 9.0	8 8.0	35 35.0	19 19.0	1 1.0	4 4.0
	総和地区	83 100.0	6 7.2	5 6.0	20 24.1	11 13.3	1 1.2	6 7.2
	三和地区	55 100.0	4 7.3	3 5.5	22 40.0	2 3.6	0 0.0	2 3.6

		合計	市や学校・教育委員会の活動（各種委員会、協議会、ＰＴＡ等）として参加	地域の老人クラブ（老人会）、子ども会、女性の活動として参加	社会福祉協議会の活動（有償ボランティア、お助け隊等）として参加	その他	無回答
全体		240 100.0	26 10.8	26 10.8	4 1.7	5 2.1	20 8.3
年代別	20歳代	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	19 100.0	2 10.5	4 21.1	0 0.0	1 5.3	2 10.5
	40歳代	27 100.0	7 25.9	4 14.8	1 3.7	1 3.7	1 3.7
	50歳代	31 100.0	3 9.7	0 0.0	0 0.0	1 3.2	2 6.5
	60歳代	61 100.0	8 13.1	4 6.6	1 1.6	2 3.3	4 6.6
	70歳代	97 100.0	5 5.2	14 14.4	2 2.1	0 0.0	11 11.3
居住地区別	古河地区	100 100.0	5 5.0	10 10.0	1 1.0	1 1.0	7 7.0
	総和地区	83 100.0	16 19.3	7 8.4	0 0.0	2 2.4	9 10.8
	三和地区	55 100.0	5 9.1	9 16.4	3 5.5	2 3.6	3 5.5

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(23) 参加している地域福祉活動

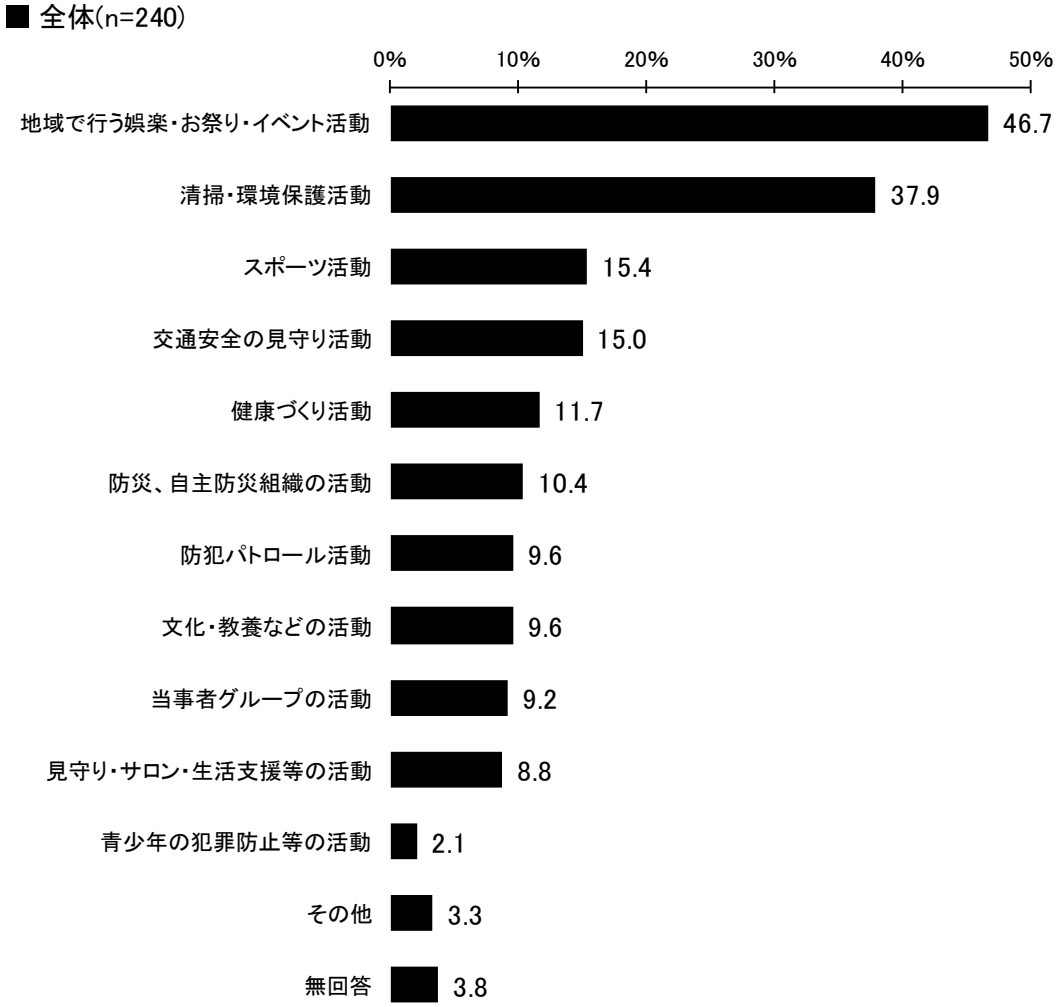
問21で「参加している」と答えた方におたずねします。
問21－２　どのような活動に参加していますか。**【複数回答】**

参加している地域福祉活動については、全体では「地域で行う娯楽・お祭り・イベント活動」の割合が 46.7%で割合が最も高く、次いで「清掃・環境保護活動」(37.9%)、「スポーツ活動」(15.4%) などの順となっています。

年代別でみると、30 歳代・60 歳代は「清掃・環境保護活動」、40 歳代・50 歳代・70 歳代は「地域で行う娯楽・お祭り・イベント活動」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、総和地区は「清掃・環境保護活動」、それ以外の地区は「地域で行う娯楽・お祭り・イベント活動」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

参加している地域福祉活動【複数回答】／全体



参加している地域福祉活動【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	清掃・環境保護活動	防犯パトロール活動	交通安全の見守り活動	文化・教養などの活動	スポーツ活動	健康づくり活動	青少年の犯罪防止等の活動
全体		240 100.0	91 37.9	23 9.6	36 15.0	23 9.6	37 15.4	28 11.7	5 2.1
年代別	20歳代	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
	30歳代	19 100.0	12 63.2	1 5.3	3 15.8	1 5.3	4 21.1	0 0.0	0 0.0
	40歳代	27 100.0	11 40.7	3 11.1	5 18.5	4 14.8	7 25.9	2 7.4	0 0.0
	50歳代	31 100.0	10 32.3	0 0.0	2 6.5	6 19.4	9 29.0	0 0.0	0 0.0
	60歳代	61 100.0	22 36.1	8 13.1	9 14.8	6 9.8	6 9.8	7 11.5	2 3.3
	70歳代	97 100.0	35 36.1	11 11.3	17 17.5	6 6.2	10 10.3	18 18.6	3 3.1
居住地区別	古河地区	100 100.0	37 37.0	8 8.0	18 18.0	5 5.0	13 13.0	11 11.0	0 0.0
	総和地区	83 100.0	35 42.2	12 14.5	10 12.0	13 15.7	15 18.1	12 14.5	4 4.8
	三和地区	55 100.0	19 34.5	3 5.5	8 14.5	5 9.1	9 16.4	5 9.1	1 1.8

		合計	見守り・サロン・生活支援等の活動	防災、自主防災組織の活動	地域で行う娯楽・お祭り・イベント活動	当事者グループの活動	その他	無回答
全体		240 100.0	21 8.8	25 10.4	112 46.7	22 9.2	8 3.3	9 3.8
年代別	20歳代	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	30歳代	19 100.0	0 0.0	0 0.0	11 57.9	3 15.8	1 5.3	0 0.0
	40歳代	27 100.0	1 3.7	3 11.1	18 66.7	2 7.4	1 3.7	1 3.7
	50歳代	31 100.0	1 3.2	1 3.2	14 45.2	1 3.2	0 0.0	3 9.7
	60歳代	61 100.0	9 14.8	6 9.8	20 32.8	4 6.6	1 1.6	2 3.3
	70歳代	97 100.0	9 9.3	14 14.4	49 50.5	12 12.4	5 5.2	3 3.1
居住地区別	古河地区	100 100.0	8 8.0	11 11.0	52 52.0	7 7.0	4 4.0	3 3.0
	総和地区	83 100.0	9 10.8	9 10.8	34 41.0	7 8.4	4 4.8	0 0.0
	三和地区	55 100.0	4 7.3	5 9.1	26 47.3	7 12.7	0 0.0	5 9.1

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(24) 地域福祉活動に参加しない理由

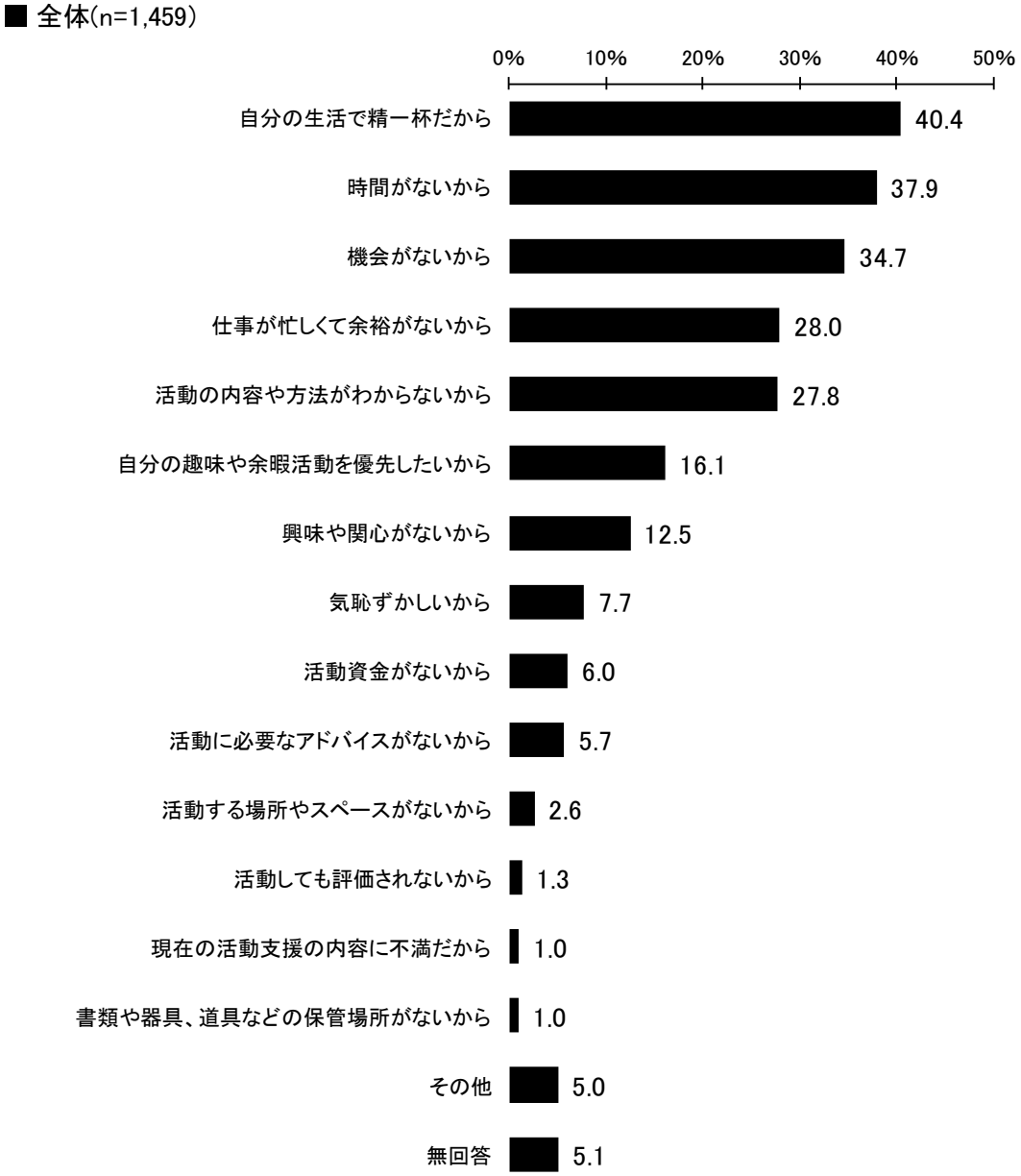
問21で「参加している」以外を答えた方におたずねします。
問22　その理由は何ですか。**【複数回答】**

地域福祉活動に参加しない理由については、全体では「自分の生活で精一杯だから」の割合が 40.4%で割合が最も高く、次いで「時間がないから」(37.9%)、「機会がないから」(34.7%)などの順となっています。

年代別でみると、20 歳代・30 歳代・50 歳代は「時間がないから」、40 歳代・70 歳代は「自分の生活で精一杯だから」、60 歳代は「機会がないから」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「自分の生活で精一杯だから」の割合が最も高くなっています。

地域福祉活動に参加しない理由【複数回答】／全体



地域福祉活動に参加しない理由【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	興味や関心がないから	機会がないから	時間がないから	気恥ずかしいから	自分の生活で精一杯だから	仕事が忙しくて余裕がないから	自分の趣味や余暇活動を優先したいから	現在の活動支援の内容に不満だから
全体		1,459	182	506	553	113	590	408	235	15
		100.0	12.5	34.7	37.9	7.7	40.4	28.0	16.1	1.0
年代別	20歳代	106	23	44	61	11	44	35	28	0
		100.0	21.7	41.5	57.5	10.4	41.5	33.0	26.4	0.0
	30歳代	177	37	53	93	22	87	71	40	3
		100.0	20.9	29.9	52.5	12.4	49.2	40.1	22.6	1.7
	40歳代	212	31	65	106	23	111	94	30	2
		100.0	14.6	30.7	50.0	10.8	52.4	44.3	14.2	0.9
	50歳代	226	32	88	106	17	83	91	25	2
		100.0	14.2	38.9	46.9	7.5	36.7	40.3	11.1	0.9
	60歳代	358	34	131	122	23	120	75	57	1
		100.0	9.5	36.6	34.1	6.4	33.5	20.9	15.9	0.3
	70歳代	369	24	122	64	17	142	40	55	6
		100.0	6.5	33.1	17.3	4.6	38.5	10.8	14.9	1.6
居住地区別	古河地区	579	66	208	205	46	216	147	101	4
		100.0	11.4	35.9	35.4	7.9	37.3	25.4	17.4	0.7
	総和地区	472	65	164	191	34	199	147	82	8
		100.0	13.8	34.7	40.5	7.2	42.2	31.1	17.4	1.7
	三和地区	352	42	114	139	26	149	99	42	3
		100.0	11.9	32.4	39.5	7.4	42.3	28.1	11.9	0.9

		合計	活動の内容や方法がわからないから	活動する場所やスペースがないから	活動資金がないから	活動しても評価されないから	書類や器具、道具などの保管場所がないから	活動に必要なアドバイスがないから	その他	無回答
全体		1,459	405	38	88	19	14	83	73	74
		100.0	27.8	2.6	6.0	1.3	1.0	5.7	5.0	5.1
年代別	20歳代	106	36	4	11	2	2	4	6	0
		100.0	34.0	3.8	10.4	1.9	1.9	3.8	5.7	0.0
	30歳代	177	48	6	15	6	4	7	3	6
		100.0	27.1	3.4	8.5	3.4	2.3	4.0	1.7	3.4
	40歳代	212	71	9	18	6	2	15	7	6
		100.0	33.5	4.2	8.5	2.8	0.9	7.1	3.3	2.8
	50歳代	226	65	5	19	1	4	12	7	9
		100.0	28.8	2.2	8.4	0.4	1.8	5.3	3.1	4.0
	60歳代	358	101	7	16	2	2	21	23	19
		100.0	28.2	2.0	4.5	0.6	0.6	5.9	6.4	5.3
	70歳代	369	82	7	8	2	0	23	26	32
		100.0	22.2	1.9	2.2	0.5	0.0	6.2	7.0	8.7
居住地区別	古河地区	579	174	18	32	9	4	26	33	25
		100.0	30.1	3.1	5.5	1.6	0.7	4.5	5.7	4.3
	総和地区	472	137	11	30	7	5	35	14	22
		100.0	29.0	2.3	6.4	1.5	1.1	7.4	3.0	4.7
	三和地区	352	84	7	20	2	4	18	21	19
		100.0	23.9	2.0	5.7	0.6	1.1	5.1	6.0	5.4

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

4　災害時の地域での支援について

（25）地域住民の助け合い活動への関心度の変化

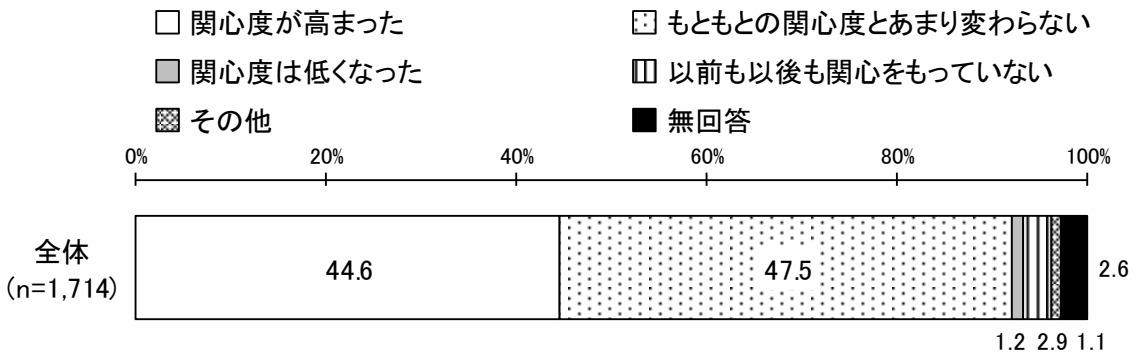
問23　全国各地で大きな災害が頻発していますが、災害時の地域の人同士による助け合い活動（地域での見守り・声かけ・ボランティア・災害支援・寄付等）について、あなた自身の関心度に変化がありましたか。

地域住民の助け合い活動への関心度の変化については、全体では「もともとの関心度とあまり変わらない」の割合が 47.5%で割合が最も高く、次いで「関心度が高まった」（44.6%）などの順となっています。

年代別にみると、70 歳代は「関心度が高まった」、それ以外の年代は「もともとの関心度とあまり変わらない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別にみると、古河地区は「関心度が高まった」、それ以外の地区は「もともとの関心度とあまり変わらない」の割合がそれぞれ最も高くなってます。

地域住民の助け合い活動への関心度の変化／全体



地域住民の助け合い活動への関心度の変化／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	関心度が高まった	もともとの関心度とあまり変わらない	関心度は低くなった	以前も以後も関心をもっていない	その他	無回答
全体		1,714	765	815	21	50	18	45
		100.0	44.6	47.5	1.2	2.9	1.1	2.6
年代別	20歳代	112	46	59	0	5	0	2
		100.0	41.1	52.7	0.0	4.5	0.0	1.8
	30歳代	196	78	103	2	10	1	2
		100.0	39.8	52.6	1.0	5.1	0.5	1.0
	40歳代	242	99	128	3	8	1	3
		100.0	40.9	52.9	1.2	3.3	0.4	1.2
	50歳代	259	96	144	4	9	2	4
		100.0	37.1	55.6	1.5	3.5	0.8	1.5
	60歳代	422	189	200	4	10	8	11
		100.0	44.8	47.4	0.9	2.4	1.9	2.6
	70歳代	471	252	179	8	7	6	19
		100.0	53.5	38.0	1.7	1.5	1.3	4.0
居住地区別	古河地区	683	318	316	10	18	6	15
		100.0	46.6	46.3	1.5	2.6	0.9	2.2
	総和地区	560	246	273	4	21	5	11
		100.0	43.9	48.8	0.7	3.8	0.9	2.0
	三和地区	412	178	199	7	9	7	12
		100.0	43.2	48.3	1.7	2.2	1.7	2.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(26) 災害時の居住地域自治組織の人同士による助け合い活動の変化

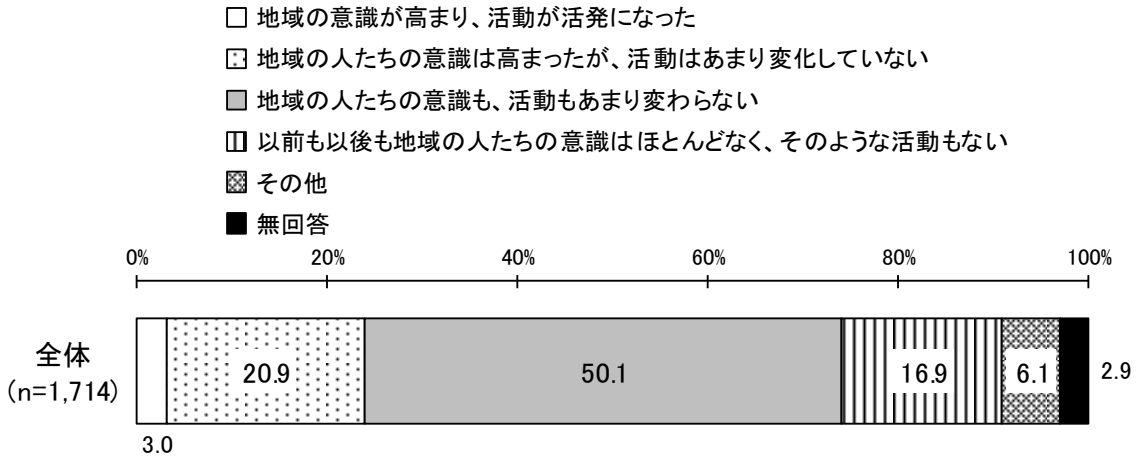
問24　あなたがお住まいの地域自治組織（自治会、行政区等）では、災害時の地域の人同士による助け合い活動（地域での見守り・声かけ・ボランティア・災害支援・寄付等）について、この数年間で何か変化がありましたか。

災害時の居住地域自治組織の人同士による助け合い活動の変化については、全体では「地域の人たちの意識も、活動もあまり変わらない」の割合が 50.1%で割合が最も高く、半数を占めています。次いで「地域の人たちの意識は高まったが、活動はあまり変化していない」（20.9%）、「以前も以後も地域の人たちの意識はほとんどなく、そのような活動もない」（16.9%）などの順となっています。

年代別でみると、すべての地区において全体と同様に「地域の人たちの意識も、活動もあまり変わらない」の割合が最も高くなっています。また、60 歳代以上の年代は「地域の人たちの意識は高まったが、活動はあまり変化していない」の割合がいずれも２割を超えています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「地域の人たちの意識も、活動もあまり変わらない」の割合が最も高く、特に三和地区は 55.8%と他の地区に比べて高くなっています。

災害時の居住地域自治組織の人同士による助け合い活動の変化／全体



災害時の居住地域自治組織の人同士による助け合い活動の変化
／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	地域の意識が高まり、活動が活発になった	地域の人たちの意識は高まったが、活動はあまり変化していない	地域の人たちの意識も、活動もあまり変わらない	以前も以後も地域の人たちの意識はほとんどなく、そのような活動もない	その他	無回答
全体		1,714	52	359	859	290	104	50
		100.0	3.0	20.9	50.1	16.9	6.1	2.9
年代別	20歳代	112	3	22	56	18	9	4
		100.0	2.7	19.6	50.0	16.1	8.0	3.6
	30歳代	196	3	35	86	46	24	2
		100.0	1.5	17.9	43.9	23.5	12.2	1.0
	40歳代	242	7	42	119	43	29	2
		100.0	2.9	17.4	49.2	17.8	12.0	0.8
	50歳代	259	6	41	145	47	15	5
		100.0	2.3	15.8	56.0	18.1	5.8	1.9
	60歳代	422	12	102	224	61	15	8
		100.0	2.8	24.2	53.1	14.5	3.6	1.9
	70歳代	471	20	116	224	74	12	25
		100.0	4.2	24.6	47.6	15.7	2.5	5.3
居住地区別	古河地区	683	30	152	329	112	43	17
		100.0	4.4	22.3	48.2	16.4	6.3	2.5
	総和地区	560	15	118	279	103	31	14
		100.0	2.7	21.1	49.8	18.4	5.5	2.5
	三和地区	412	6	83	230	64	20	9
		100.0	1.5	20.1	55.8	15.5	4.9	2.2

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(27) 災害で困った際に家族や親族、行政や公共事業以外で最も受けたい支援

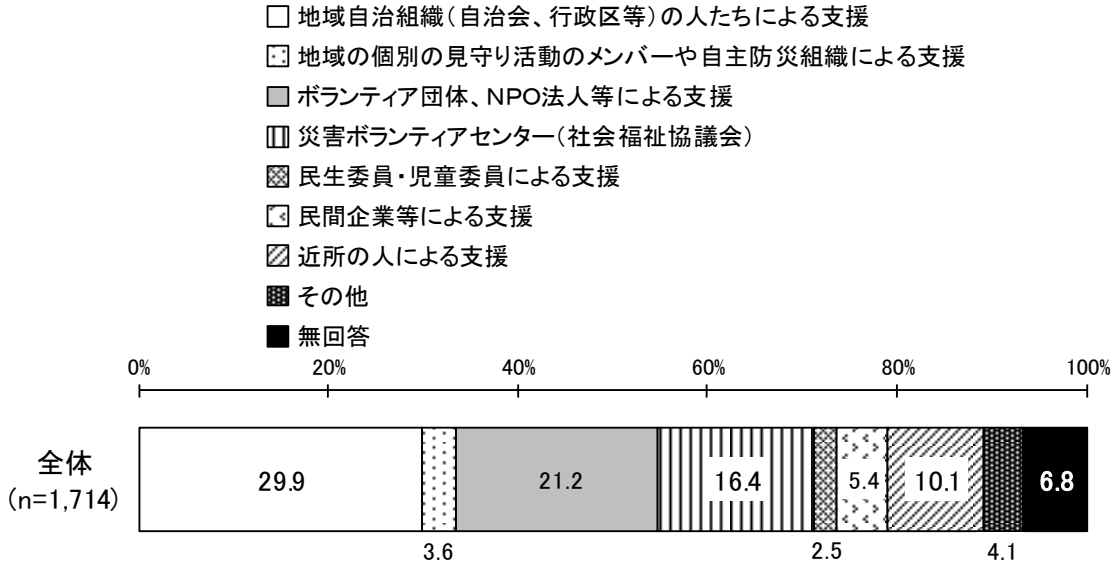
問25　もし、あなたが災害などで困った状態になったとき、家族や親族、行政（学校・警察・消防を含む）や公共事業（病院・日赤・福祉サービス事業所等）以外で、最も支援を受けたいと思うのは次のうちどれですか。

災害で困った際に家族や親族、行政や公共事業以外で最も受けたい支援については、全体では「地域自治組織（自治会、行政区等）の人たちによる支援」の割合が 29.9%で割合が最も高く、次いで「ボランティア団体、ＮＰＯ法人等による支援」(21.2%)、「災害ボランティアセンター（社会福祉協議会)」(16.4%）などの順となっています。

年代別でみると、40 歳代以下は「ボランティア団体、ＮＰＯ法人等による支援」、50 歳代以上は「地域自治組織（自治会、行政区等）の人たちによる支援」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「地域自治組織（自治会、行政区等）の人たちによる支援」の割合が最も高くなっています。また、総和地区は「ボランティア団体、ＮＰＯ法人等による支援」の割合が 24.5%と他の地区に比べて高くなっています。

災害で困った際に家族や親族、行政や公共事業以外で最も受けたい支援／全体



災害で困った際に家族や親族、行政や公共事業以外で最も受けたい支援
／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	地域自治組織（自治会、行政区等）の人たちによる支援	地域の個別の見守り活動のメンバーや自主防災組織による支援	ボランティア団体、ＮＰＯ法人等による支援	災害ボランティアセンター（社会福祉協議会）	民生委員・児童委員による支援	民間企業等による支援	近所の人による支援	その他	無回答
全体		1,714	513	62	364	281	42	93	173	70	116
		100.0	29.9	3.6	21.2	16.4	2.5	5.4	10.1	4.1	6.8
年代別	20歳代	112	34	1	42	11	3	6	4	6	5
		100.0	30.4	0.9	37.5	9.8	2.7	5.4	3.6	5.4	4.5
	30歳代	196	40	6	58	27	9	23	6	16	11
		100.0	20.4	3.1	29.6	13.8	4.6	11.7	3.1	8.2	5.6
	40歳代	242	55	11	73	43	4	23	12	8	13
		100.0	22.7	4.5	30.2	17.8	1.7	9.5	5.0	3.3	5.4
	50歳代	259	63	6	58	56	7	19	18	12	20
		100.0	24.3	2.3	22.4	21.6	2.7	7.3	6.9	4.6	7.7
	60歳代	422	136	19	74	77	6	9	59	16	26
		100.0	32.2	4.5	17.5	18.2	1.4	2.1	14.0	3.8	6.2
	70歳代	471	183	18	55	66	13	13	74	12	37
		100.0	38.9	3.8	11.7	14.0	2.8	2.8	15.7	2.5	7.9
居住地区別	古河地区	683	220	23	134	120	18	42	59	28	39
		100.0	32.2	3.4	19.6	17.6	2.6	6.1	8.6	4.1	5.7
	総和地区	560	155	24	137	74	11	29	63	23	44
		100.0	27.7	4.3	24.5	13.2	2.0	5.2	11.3	4.1	7.9
	三和地区	412	124	12	79	77	10	22	46	18	24
		100.0	30.1	2.9	19.2	18.7	2.4	5.3	11.2	4.4	5.8

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(28) 災害等の緊急時の地域支援者の存在

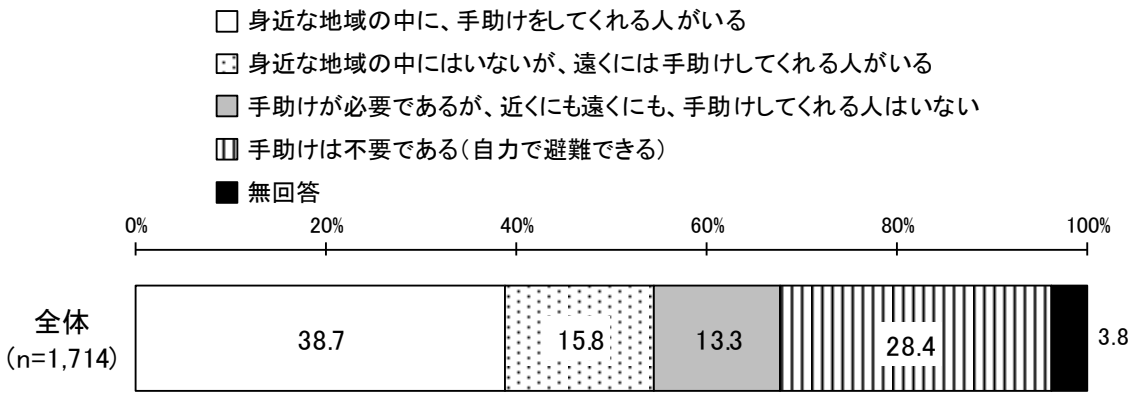
問26　災害等の緊急時に避難するとき、身近な地域の中で、避難の誘導など、あなたの手助けをしてくれる人（あなたの地域支援者）はいますか。

災害等の緊急時の地域支援者の存在については、全体では「身近な地域の中に、手助けをしてくれる人がいる」の割合が 38.7%で割合が最も高く、次いで「手助けは不要である（自力で避難できる）」(28.4%)、「身近な地域の中にはいないが、遠くには手助けしてくれる人がいる」(15.8%) などの順となっています。

年代別でみると、20 歳代・30 歳代・50 歳代は「手助けは不要である（自力で避難できる）」、40 歳代・60 歳代・70 歳代は「身近な地域の中に、手助けをしてくれる人がいる」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「身近な地域の中に、手助けをしてくれる人がいる」の割合が最も高くなっています。

災害等の緊急時の地域支援者の存在／全体



災害等の緊急時の地域支援者の存在／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	身近な地域の中に、手助けをしてくれる人がいる	身近な地域の中には手助けしてくれる人がいないが、遠くには手助けしてくれる人がいる	手助けが必要であるが、近くにも遠くにも手助けしてくれる人はいない	手助けは不要である（自力で避難できる）	無回答
全体		1,714	664	270	228	487	65
		100.0	38.7	15.8	13.3	28.4	3.8
年代別	20歳代	112	34	23	13	37	5
		100.0	30.4	20.5	11.6	33.0	4.5
	30歳代	196	63	30	32	69	2
		100.0	32.1	15.3	16.3	35.2	1.0
	40歳代	242	92	35	33	75	7
		100.0	38.0	14.5	13.6	31.0	2.9
	50歳代	259	86	35	42	88	8
		100.0	33.2	13.5	16.2	34.0	3.1
	60歳代	422	156	74	44	129	19
		100.0	37.0	17.5	10.4	30.6	4.5
	70歳代	471	230	70	63	85	23
		100.0	48.8	14.9	13.4	18.0	4.9
居住地区別	古河地区	683	264	127	80	192	20
		100.0	38.7	18.6	11.7	28.1	2.9
	総和地区	560	214	81	80	163	22
		100.0	38.2	14.5	14.3	29.1	3.9
	三和地区	412	169	52	58	113	20
		100.0	41.0	12.6	14.1	27.4	4.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(29) 災害等の支援者

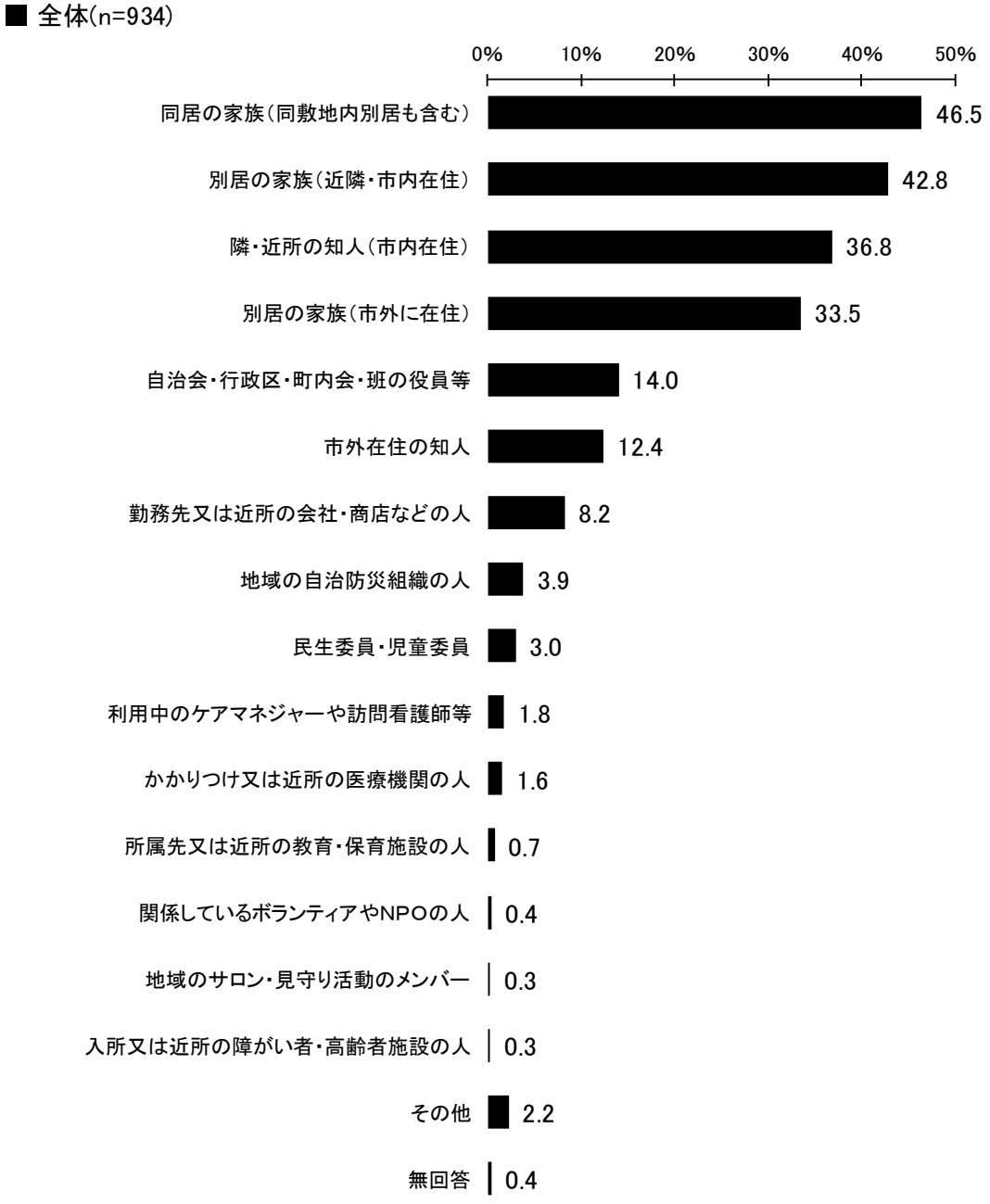
問26で「手助けをしてくれる人がいる」と答えた方におたずねします。
問26－１　災害等にあなたの手助けしてくれる人とはどのような人ですか。**【複数回答】**

災害等の支援者については、全体では「同居の家族（同敷地内別居も含む）」の割合が 46.5％で割合が最も高く、次いで「別居の家族（近隣・市内在住）」（42.8％）、「隣・近所の知人（市内在住）」（36.8％）などの順となっています。

年代別でみると、30 歳代は「別居の家族（近隣・市内在住）」、それ以外の年代は「同居の家族（同敷地内別居も含む）」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「同居の家族（同敷地内別居も含む）」の割合が最も高くなっています。

災害等の支援者【複数回答】／全体



災害等の支援者【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	同居の家族（同敷地内別居も含む）	別居の家族（近隣・市内在住）	別居の家族（市外に在住）	隣・近所の知人（市内在住）	市外在住の知人	自治会・行政区・町内会・班の役員等	地域のサロン・見守り活動のメンバー	地域の自治防災組織の人	民生委員・児童委員
全体		934	434	400	313	344	116	131	3	36	28
		100.0	46.5	42.8	33.5	36.8	12.4	14.0	0.3	3.9	3.0
年代別	20歳代	57	29	14	17	17	8	2	0	2	0
		100.0	50.9	24.6	29.8	29.8	14.0	3.5	0.0	3.5	0.0
	30歳代	93	36	44	32	24	18	9	0	1	0
		100.0	38.7	47.3	34.4	25.8	19.4	9.7	0.0	1.1	0.0
	40歳代	127	67	62	48	41	18	6	0	0	0
		100.0	52.8	48.8	37.8	32.3	14.2	4.7	0.0	0.0	0.0
	50歳代	121	64	58	47	42	20	14	0	4	4
		100.0	52.9	47.9	38.8	34.7	16.5	11.6	0.0	3.3	3.3
	60歳代	230	97	89	83	84	31	33	2	12	6
		100.0	42.2	38.7	36.1	36.5	13.5	14.3	0.9	5.2	2.6
	70歳代	300	141	130	85	136	20	66	1	17	18
		100.0	47.0	43.3	28.3	45.3	6.7	22.0	0.3	5.7	6.0
居住地区別	古河地区	391	171	166	128	127	50	62	2	15	12
		100.0	43.7	42.5	32.7	32.5	12.8	15.9	0.5	3.8	3.1
	総和地区	295	149	134	94	117	38	42	1	13	7
		100.0	50.5	45.4	31.9	39.7	12.9	14.2	0.3	4.4	2.4
	三和地区	221	105	91	84	95	26	25	0	8	5
		100.0	47.5	41.2	38.0	43.0	11.8	11.3	0.0	3.6	2.3

		合計	勤務先又は近所の会社・商店などの人	入所又は近所の障がい者・高齢者施設の人	関係しているボランティアやＮＰＯの人	所属先又は近所の教育・保育施設の人	利用中のケアマネジャーや訪問看護師等	かかりつけ又は近所の医療機関の人	その他	無回答
全体		934	77	3	4	7	17	15	21	4
		100.0	8.2	0.3	0.4	0.7	1.8	1.6	2.2	0.4
年代別	20歳代	57	10	0	0	2	0	0	2	0
		100.0	17.5	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	3.5	0.0
	30歳代	93	19	0	0	3	1	2	2	1
		100.0	20.4	0.0	0.0	3.2	1.1	2.2	2.2	1.1
	40歳代	127	17	1	1	0	2	0	1	0
		100.0	13.4	0.8	0.8	0.0	1.6	0.0	0.8	0.0
	50歳代	121	14	2	1	0	3	3	1	1
		100.0	11.6	1.7	0.8	0.0	2.5	2.5	0.8	0.8
	60歳代	230	13	0	2	0	4	6	9	0
		100.0	5.7	0.0	0.9	0.0	1.7	2.6	3.9	0.0
	70歳代	300	4	0	0	1	7	4	6	1
		100.0	1.3	0.0	0.0	0.3	2.3	1.3	2.0	0.3
居住地区別	古河地区	391	37	1	1	3	9	7	10	0
		100.0	9.5	0.3	0.3	0.8	2.3	1.8	2.6	0.0
	総和地区	295	24	1	2	3	3	4	4	3
		100.0	8.1	0.3	0.7	1.0	1.0	1.4	1.4	1.0
	三和地区	221	13	1	1	1	4	4	5	1
		100.0	5.9	0.5	0.5	0.5	1.8	1.8	2.3	0.5

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(30) 災害等の緊急時に支援が必要な人に対する手助け

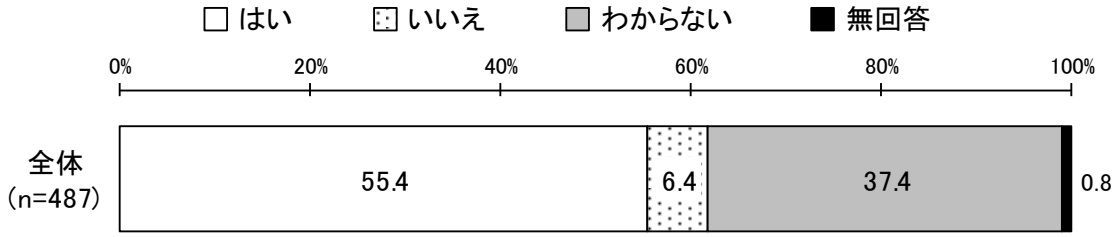
問26で「手助けは不要である（自力で避難できる）」と答えた方におたずねします。
問26－２　あなたは災害等の緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方、子どもなど、支援が必要な人に対して手助けすることができますか。

災害等の緊急時に支援が必要な人に対する手助けについては、全体では「はい」の割合が55.4％で、「いいえ」(6.4％) の割合を上回っています。なお、「わからない」の割合は37.4％となっています。

年代別でみると、40 歳代以下の年代は「わからない」の割合が最も高く、特に 20 歳代は51.4％となっています。さらに 30 歳代は「はい」も同率で最も高くなっています。50 歳代以上の年代は「はい」の割合が最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「はい」の割合が最も高く、特に三和地区は61.9％と他の年代に比べて高くなっています。

災害等の緊急時に支援が必要な人に対する手助け／全体



災害等の緊急時に支援が必要な人に対する手助け／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	はい	いいえ	わからない	無回答
全体		487 100.0	270 55.4	31 6.4	182 37.4	4 0.8
年代別	20歳代	37 100.0	16 43.2	2 5.4	19 51.4	0 0.0
	30歳代	69 100.0	31 44.9	6 8.7	31 44.9	1 1.4
	40歳代	75 100.0	34 45.3	5 6.7	35 46.7	1 1.3
	50歳代	88 100.0	48 54.5	3 3.4	37 42.0	0 0.0
	60歳代	129 100.0	87 67.4	5 3.9	35 27.1	2 1.6
	70歳代	85 100.0	52 61.2	10 11.8	23 27.1	0 0.0
居住地区別	古河地区	192 100.0	105 54.7	15 7.8	71 37.0	1 0.5
	総和地区	163 100.0	85 52.1	10 6.1	66 40.5	2 1.2
	三和地区	113 100.0	70 61.9	6 5.3	36 31.9	1 0.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(31)「避難行動要支援者」という言葉の認知

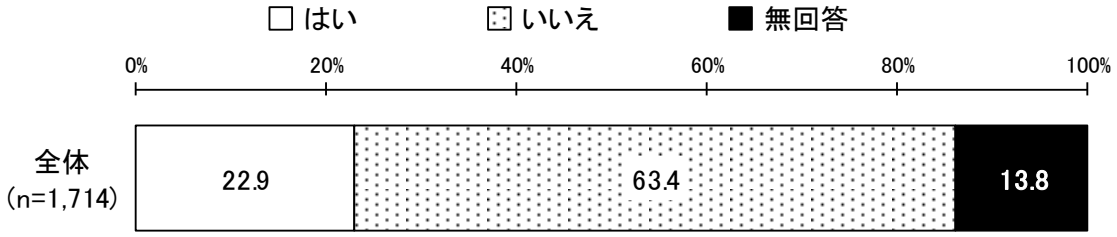
問27　あなたは避難行動要支援者という言葉を知っていますか。

「避難行動要支援者」という言葉の認知については、全体では「いいえ」の割合が 63.4%で、「はい」（22.9%）の割合を上回っています。

年代別で「はい」の割合をみると、概ね年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向にあります。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「いいえ」の割合が最も高くなっています。

「避難行動要支援者」という言葉の認知／全体



「避難行動要支援者」という言葉の認知／全体、年代別、居住地区別

上段：n　下段：%

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,714 100.0	392 22.9	1,086 63.4	236 13.8
年代別	20歳代	112 100.0	16 14.3	83 74.1	13 11.6
	30歳代	196 100.0	29 14.8	138 70.4	29 14.8
	40歳代	242 100.0	34 14.0	183 75.6	25 10.3
	50歳代	259 100.0	46 17.8	177 68.3	36 13.9
	60歳代	422 100.0	107 25.4	253 60.0	62 14.7
	70歳代	471 100.0	158 33.5	243 51.6	70 14.9
居住地区別	古河地区	683 100.0	168 24.6	423 61.9	92 13.5
	総和地区	560 100.0	118 21.1	361 64.5	81 14.5
	三和地区	412 100.0	95 23.1	261 63.3	56 13.6

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(32) 居住地区の避難所の場所の認知

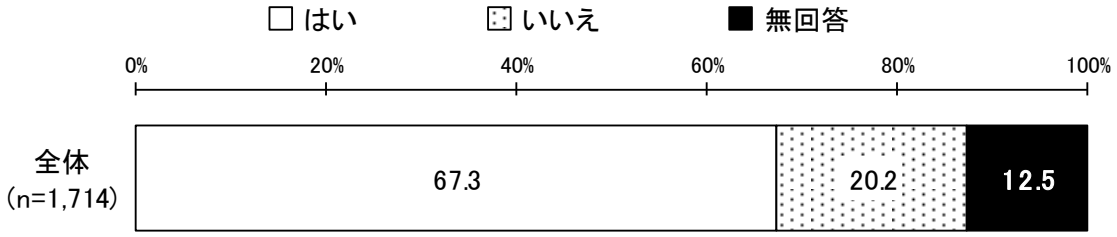
問28　あなたはお住まいの地区の避難所の場所を知っていますか。

居住地区の避難所の場所の認知については、全体では「はい」の割合が 67.3%で、「いいえ」(20.2%) の割合を上回っています。

年代別で「はい」の割合をみると、60 歳代が 72.7%と他の年代に比べて高くなっています。また、「いいえ」の割合をみると、40 歳代以下の年代がいずれも２割を超えています。

居住地区別で「いいえ」の割合をみると、三和地区が 26.9%と他の地区に比べて高くなっています。

居住地区の避難所の場所の認知／全体



居住地区の避難所の場所の認知／全体、年代別、居住地区別

上段：n　下段：%

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,714 100.0	1,153 67.3	346 20.2	215 12.5
年代別	20歳代	112 100.0	74 66.1	26 23.2	12 10.7
	30歳代	196 100.0	117 59.7	53 27.0	26 13.3
	40歳代	242 100.0	152 62.8	70 28.9	20 8.3
	50歳代	259 100.0	168 64.9	51 19.7	40 15.4
	60歳代	422 100.0	307 72.7	64 15.2	51 12.1
	70歳代	471 100.0	328 69.6	78 16.6	65 13.8
居住地区別	古河地区	683 100.0	489 71.6	109 16.0	85 12.4
	総和地区	560 100.0	385 68.8	104 18.6	71 12.7
	三和地区	412 100.0	249 60.4	111 26.9	52 12.6

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(33) 地域の防災活動・訓練への参加状況

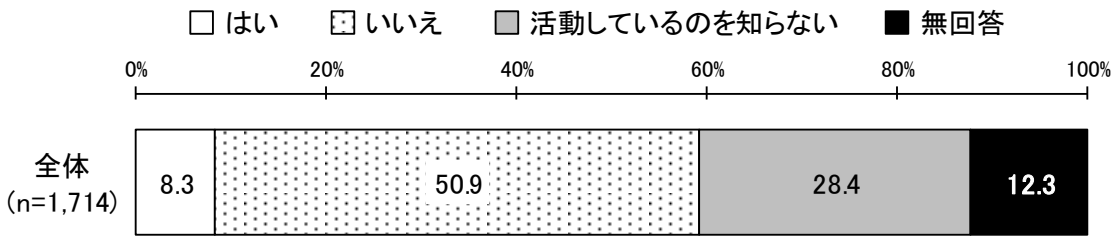
問29　あなたは日頃から地域の防災活動や訓練に参加していますか。

地域の防災活動・訓練への参加状況については、全体では「いいえ」の割合が 50.9%で、「はい」(8.3%) の割合を上回っています。なお、「活動しているのを知らない」は 28.4%となっています。

年代別でみると、30 歳代は「活動しているのを知らない」、それ以外の年代は「いいえ」の割合が最も高くなっています。また、「はい」の割合をみると、年代があがるにつれて高くなる傾向にあります。

居住地区別でみると、すべての地区で全体と同様に「いいえ」の割合が最も高くなっています。

地域の防災活動・訓練への参加状況／全体



地域の防災活動・訓練への参加状況／全体、年代別、居住地区別

上段：n　下段：%

		合計	はい	いいえ	活動しているのを知らない	無回答
全体		1,714	143	873	487	211
		100.0	8.3	50.9	28.4	12.3
年代別	20歳代	112	3	49	48	12
		100.0	2.7	43.8	42.9	10.7
	30歳代	196	8	76	85	27
		100.0	4.1	38.8	43.4	13.8
	40歳代	242	13	118	91	20
		100.0	5.4	48.8	37.6	8.3
	50歳代	259	17	129	75	38
		100.0	6.6	49.8	29.0	14.7
	60歳代	422	44	241	86	51
		100.0	10.4	57.1	20.4	12.1
	70歳代	471	58	253	98	62
		100.0	12.3	53.7	20.8	13.2
居住地区別	古河地区	683	57	353	192	81
		100.0	8.3	51.7	28.1	11.9
	総和地区	560	48	280	158	74
		100.0	8.6	50.0	28.2	13.2
	三和地区	412	35	217	110	50
		100.0	8.5	52.7	26.7	12.1

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(34) 災害時に備えた避難計画や備蓄などの準備

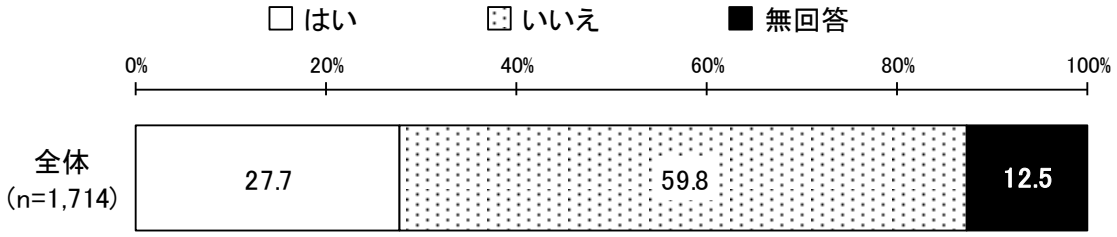
問30　あなたは、災害等が起こった時に備えて、避難計画を立てて備蓄などの準備をしていますか。

災害時に備えた避難計画や備蓄などの準備については、全体では「いいえ」の割合が 59.8%で、「はい」(27.7%) の割合を上回っています。

年代別でみると、すべての年代で全体と同様に「いいえ」の割合が最も高く、特に 20 歳代は 69.6%と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別で「はい」の割合をみると、古河地区が 30.7%と他の居住地区に比べて高くなっています。

災害時に備えた避難計画や備蓄などの準備／全体



災害時に備えた避難計画や備蓄などの準備／全体、年代別、居住地区別

上段：n　下段：%

		合計	はい	いいえ	無回答
全体		1,714 100.0	474 27.7	1,025 59.8	215 12.5
年代別	20歳代	112 100.0	22 19.6	78 69.6	12 10.7
	30歳代	196 100.0	45 23.0	123 62.8	28 14.3
	40歳代	242 100.0	77 31.8	144 59.5	21 8.7
	50歳代	259 100.0	59 22.8	161 62.2	39 15.1
	60歳代	422 100.0	121 28.7	250 59.2	51 12.1
	70歳代	471 100.0	149 31.6	259 55.0	63 13.4
居住地区別	古河地区	683 100.0	210 30.7	386 56.5	87 12.7
	総和地区	560 100.0	150 26.8	336 60.0	74 13.2
	三和地区	412 100.0	103 25.0	260 63.1	49 11.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

５　福祉情報の入手先・福祉の相談先について

（35）直近半年に市の保健福祉情報を必要とした経験

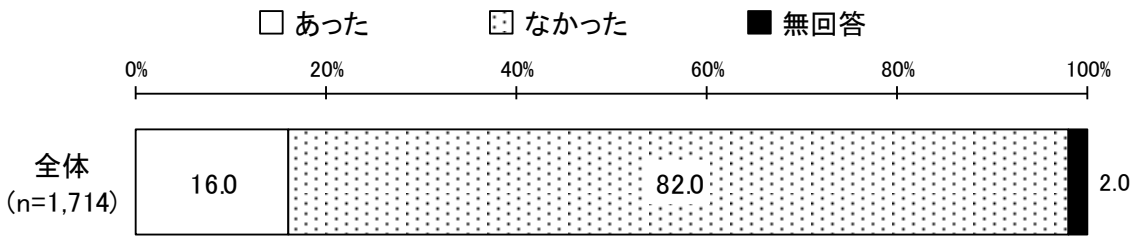
問31　あなたはこれまで、保育サービス、高齢者や障がい者への福祉サービス、健康に関する情報など、市の保健福祉情報を必要としたときがありましたか。直近半年以内の状況でお答えください。

直近半年に市の保健福祉情報を必要とした経験については、全体では「なかった」の割合が 82.0％で、「あった」（16.0％）の割合を大きく上回っています。

年代別で「あった」の割合をみると、30 歳代は 24.5％と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「なかった」の割合が最も高くなっています。

直近半年に市の保健福祉情報を必要とした経験／全体



直近半年に市の保健福祉情報を必要とした経験／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	あった	なかった	無回答
全体		1,714 100.0	275 16.0	1,405 82.0	34 2.0
年代別	20歳代	112 100.0	16 14.3	93 83.0	3 2.7
	30歳代	196 100.0	48 24.5	146 74.5	2 1.0
	40歳代	242 100.0	41 16.9	199 82.2	2 0.8
	50歳代	259 100.0	46 17.8	206 79.5	7 2.7
	60歳代	422 100.0	59 14.0	354 83.9	9 2.1
	70歳代	471 100.0	63 13.4	398 84.5	10 2.1
居住地区別	古河地区	683 100.0	117 17.1	558 81.7	8 1.2
	総和地区	560 100.0	79 14.1	469 83.8	12 2.1
	三和地区	412 100.0	70 17.0	332 80.6	10 2.4

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(36) 市の保健福祉情報の入手スピード

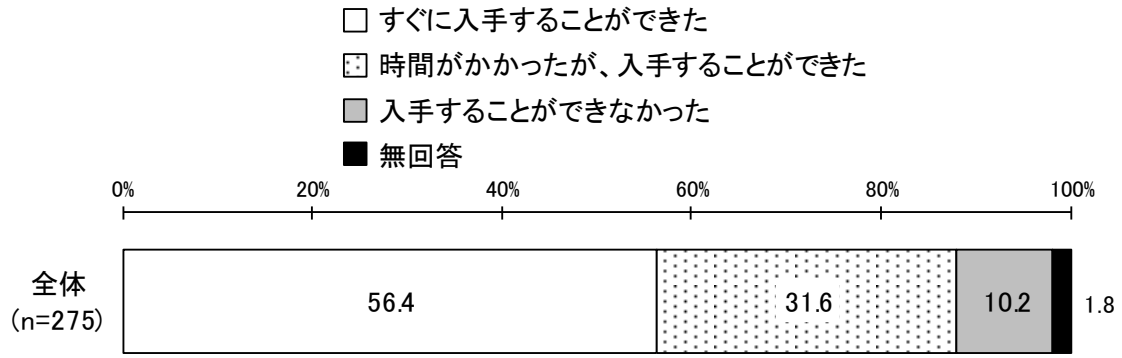
問31で「あった」と答えた方におたずねします。
問32　必要としたとき、すぐに入手できましたか。

市の保健福祉情報の入手スピードについては、全体では「すぐに入手することができた」の割合が 56.4%で割合が最も高く、次いで「時間がかかったが、入手することができた」(31.6%)、「入手することができなかった」(10.2%) の順となっています。

年代別でみると、50 歳代は「時間がかかったが、入手することができた」、それ以外の年代は「すぐに入手することができた」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、「すぐに入手することができた」の割合が最も高く、特に総和地区は62.0%と他の地区に比べて高くなっています。

市の保健福祉情報の入手スピード／全体



市の保健福祉情報の入手スピード／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	すぐに入手することができた	時間がかかったが、入手することができた	入手することができなかった	無回答
全体		275 100.0	155 56.4	87 31.6	28 10.2	5 1.8
年代別	20歳代	16 100.0	9 56.3	5 31.3	2 12.5	0 0.0
	30歳代	48 100.0	28 58.3	10 20.8	8 16.7	2 4.2
	40歳代	41 100.0	26 63.4	13 31.7	1 2.4	1 2.4
	50歳代	46 100.0	20 43.5	21 45.7	5 10.9	0 0.0
	60歳代	59 100.0	35 59.3	18 30.5	5 8.5	1 1.7
	70歳代	63 100.0	36 57.1	19 30.2	7 11.1	1 1.6
居住地区別	古河地区	117 100.0	69 59.0	34 29.1	13 11.1	1 0.9
	総和地区	79 100.0	49 62.0	22 27.8	8 10.1	0 0.0
	三和地区	70 100.0	33 47.1	27 38.6	7 10.0	3 4.3

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(37) 今後希望する市の保健福祉情報の入手方法

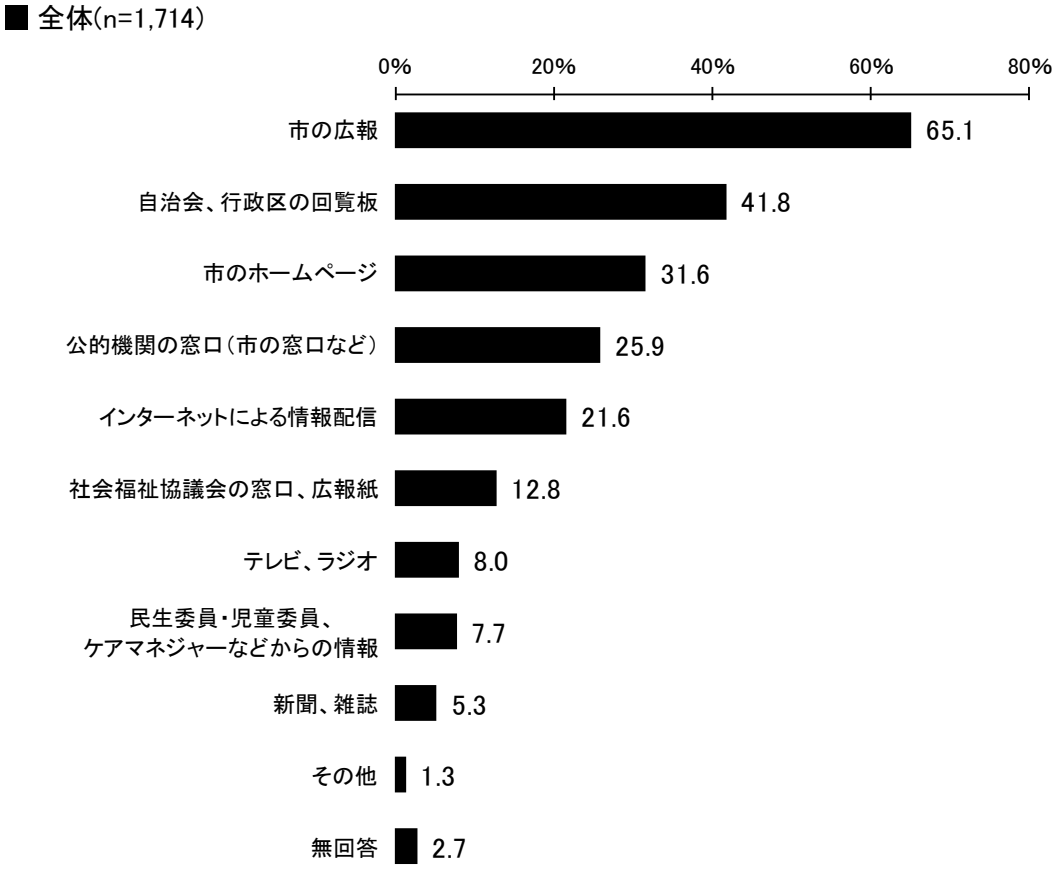
問33　今後、市の保健福祉情報をどのような方法で入手したいですか。**【複数回答】**

今後希望する市の保健福祉情報の入手方法については、全体では「市の広報」の割合が65.1％で割合が最も高く、次いで「自治会、行政区の回覧板」(41.8％)、「市のホームページ」(31.6％) などの順となっています。

年代別でみると、20歳代は「インターネットによる情報配信」、30歳代は「市のホームページ」、40歳代以上の年代は「市の広報」が最も高くなっています。また、60歳代以上の年代は「自治会、行政区の回覧板」がいずれも５割を超えています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「市の広報」の割合が最も高くなっていますが、三和地区は他の地区に比べて少し低くなっています。

今後希望する市の保健福祉情報の入手方法【複数回答】／全体



今後希望する市の保健福祉情報の入手方法【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	公的機関の窓口（市の窓口など）	市の広報	市のホームページ	インターネットによる情報配信	新聞、雑誌	テレビ、ラジオ
全体		1,714 100.0	444 25.9	1,115 65.1	542 31.6	371 21.6	90 5.3	137 8.0
年代別	20歳代	112 100.0	20 17.9	38 33.9	54 48.2	55 49.1	7 6.3	9 8.0
	30歳代	196 100.0	47 24.0	89 45.4	112 57.1	95 48.5	6 3.1	15 7.7
	40歳代	242 100.0	52 21.5	148 61.2	135 55.8	76 31.4	5 2.1	23 9.5
	50歳代	259 100.0	56 21.6	161 62.2	105 40.5	68 26.3	12 4.6	17 6.6
	60歳代	422 100.0	120 28.4	321 76.1	94 22.3	60 14.2	20 4.7	30 7.1
	70歳代	471 100.0	147 31.2	352 74.7	40 8.5	13 2.8	38 8.1	43 9.1
居住地区別	古河地区	683 100.0	188 27.5	470 68.8	236 34.6	162 23.7	37 5.4	60 8.8
	総和地区	560 100.0	133 23.8	375 67.0	180 32.1	106 18.9	29 5.2	41 7.3
	三和地区	412 100.0	110 26.7	242 58.7	109 26.5	92 22.3	18 4.4	32 7.8

		合計	社会福祉協議会の窓口、広報紙	民生委員・児童委員、ケアマネジャーなどからの情報	自治会、行政区の回覧板	その他	無回答
全体		1,714 100.0	219 12.8	132 7.7	716 41.8	22 1.3	47 2.7
年代別	20歳代	112 100.0	12 10.7	2 1.8	20 17.9	1 0.9	3 2.7
	30歳代	196 100.0	11 5.6	7 3.6	41 20.9	3 1.5	4 2.0
	40歳代	242 100.0	19 7.9	13 5.4	71 29.3	3 1.2	3 1.2
	50歳代	259 100.0	23 8.9	29 11.2	99 38.2	3 1.2	10 3.9
	60歳代	422 100.0	76 18.0	32 7.6	215 50.9	5 1.2	9 2.1
	70歳代	471 100.0	76 16.1	48 10.2	267 56.7	7 1.5	15 3.2
居住地区別	古河地区	683 100.0	65 9.5	46 6.7	279 40.8	9 1.3	14 2.0
	総和地区	560 100.0	80 14.3	40 7.1	241 43.0	8 1.4	15 2.7
	三和地区	412 100.0	65 15.8	37 9.0	178 43.2	3 0.7	16 3.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(38) 現在の生活についての悩みや不安

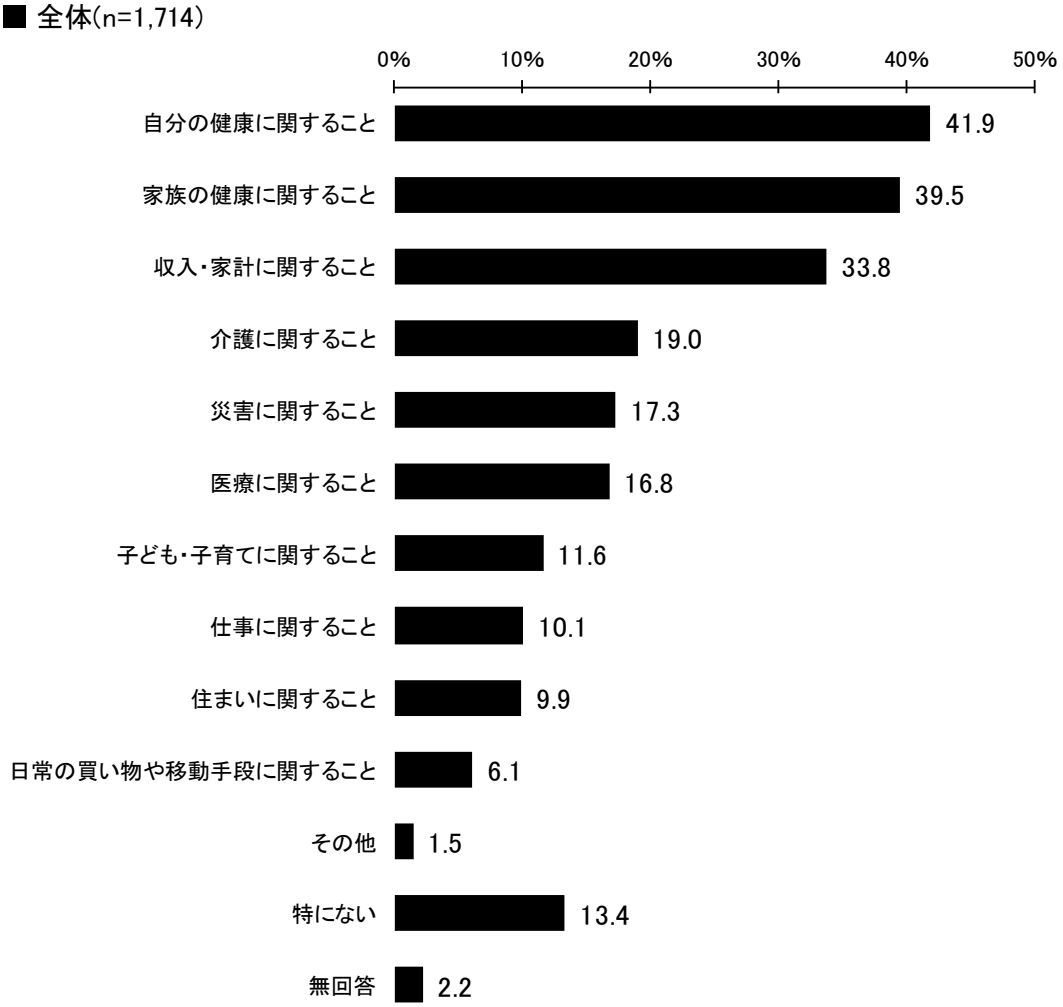
問34　あなたは、現在の生活について、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。
【複数回答】

現在の生活についての悩みや不安については、全体では「自分の健康に関すること」の割合が 41.9%で割合が最も高く、次いで「家族の健康に関すること」(39.5%)、「収入・家計に関すること」(33.8%) などの順となっています。

年代別でみると、50 歳代以下の年代は「収入・家計に関すること」、60 歳代以上の年代は「自分の健康に関すること」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区で全体と同様に「自分の健康に関すること」の割合が最も高くなっています。さらに総和地区は「家族の健康に関すること」の割合も同率で最も高くなっています。

現在の生活についての悩みや不安【複数回答】／全体



現在の生活についての悩みや不安【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	自分の健康に関すること	家族の健康に関すること	収入・家計に関すること	子ども・子育てに関すること	介護に関すること	医療に関すること	住まいに関すること
全体		1,714	718	677	579	199	326	288	170
		100.0	41.9	39.5	33.8	11.6	19.0	16.8	9.9
年代別	20歳代	112	18	28	48	21	10	14	12
		100.0	16.1	25.0	42.9	18.8	8.9	12.5	10.7
	30歳代	196	44	58	102	90	16	26	21
		100.0	22.4	29.6	52.0	45.9	8.2	13.3	10.7
	40歳代	242	74	97	98	60	39	30	30
		100.0	30.6	40.1	40.5	24.8	16.1	12.4	12.4
	50歳代	259	97	103	106	12	56	30	34
		100.0	37.5	39.8	40.9	4.6	21.6	11.6	13.1
	60歳代	422	203	188	119	12	82	77	37
		100.0	48.1	44.5	28.2	2.8	19.4	18.2	8.8
	70歳代	471	276	199	101	3	121	111	34
		100.0	58.6	42.3	21.4	0.6	25.7	23.6	7.2
居住地区別	古河地区	683	289	260	215	74	127	110	68
		100.0	42.3	38.1	31.5	10.8	18.6	16.1	10.0
	総和地区	560	226	226	179	70	101	100	55
		100.0	40.4	40.4	32.0	12.5	18.0	17.9	9.8
	三和地区	412	179	170	162	48	86	70	41
		100.0	43.4	41.3	39.3	11.7	20.9	17.0	10.0

		合計	仕事に関すること	災害に関すること	日常の買い物や移動手段に関すること	その他	特にない	無回答
全体		1,714	173	297	105	25	229	38
		100.0	10.1	17.3	6.1	1.5	13.4	2.2
年代別	20歳代	112	34	21	6	1	24	1
		100.0	30.4	18.8	5.4	0.9	21.4	0.9
	30歳代	196	36	37	4	3	21	3
		100.0	18.4	18.9	2.0	1.5	10.7	1.5
	40歳代	242	35	41	7	4	27	5
		100.0	14.5	16.9	2.9	1.7	11.2	2.1
	50歳代	259	35	46	8	4	43	5
		100.0	13.5	17.8	3.1	1.5	16.6	1.9
	60歳代	422	24	73	31	7	60	11
		100.0	5.7	17.3	7.3	1.7	14.2	2.6
	70歳代	471	8	78	49	5	54	11
		100.0	1.7	16.6	10.4	1.1	11.5	2.3
居住地区別	古河地区	683	64	128	37	12	106	15
		100.0	9.4	18.7	5.4	1.8	15.5	2.2
	総和地区	560	55	107	33	10	72	14
		100.0	9.8	19.1	5.9	1.8	12.9	2.5
	三和地区	412	45	51	26	2	48	7
		100.0	10.9	12.4	6.3	0.5	11.7	1.7

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(39) 保健や福祉についての相談先

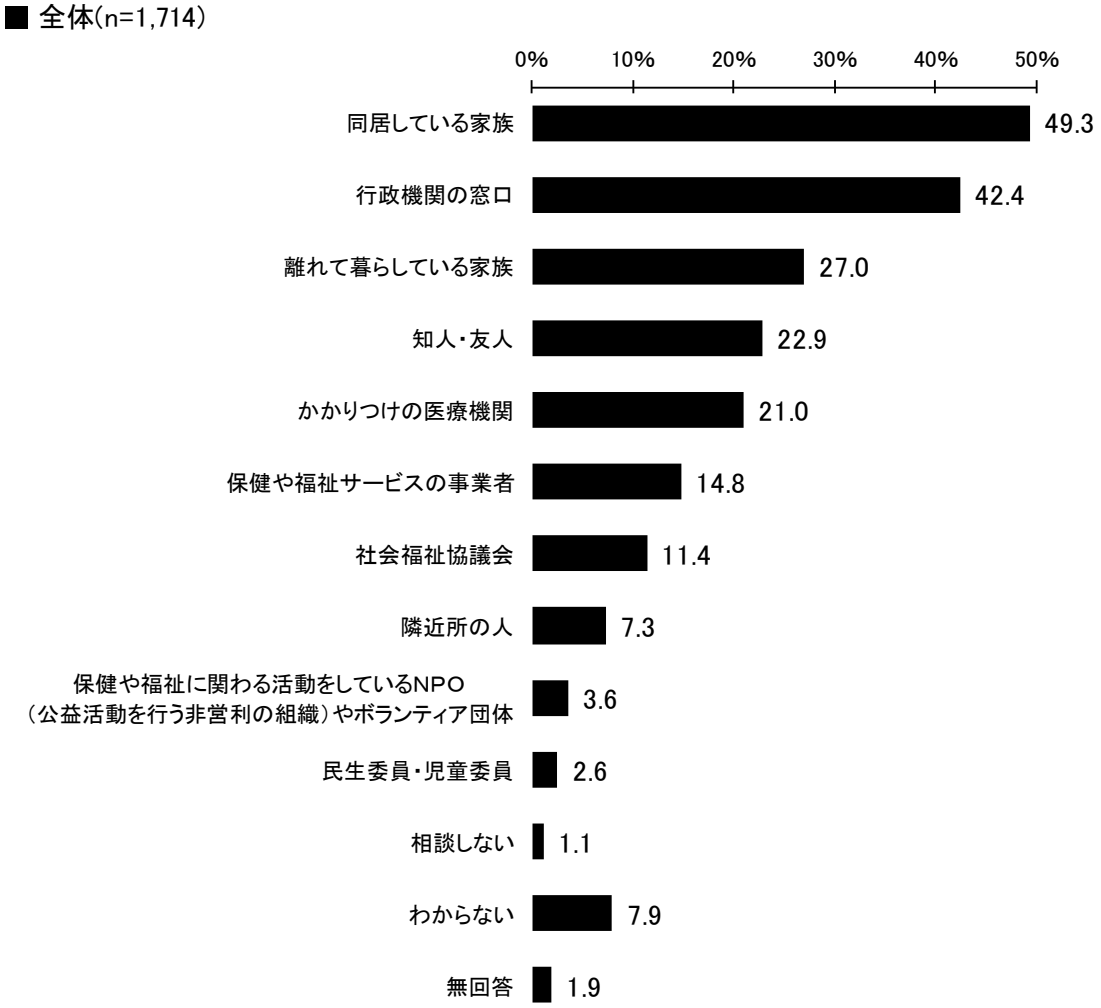
問35　あなたが保健や福祉について相談したいとき、どこに相談しますか。**【複数回答】**

保健や福祉についての相談先については、全体では「同居している家族」の割合が 49.3%で割合が最も高く、次いで「行政機関の窓口」(42.4%)、「離れて暮らしている家族」(27.0%)などの順となっています。

年代別でみると、60 歳代は「行政機関の窓口」、それ以外の年代は「同居している家族」の割合が最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「同居している家族」の割合が最も高くなっています。

保健や福祉についての相談先【複数回答】／全体



保健や福祉についての相談先【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	同居している家族	離れて暮らしている家族	隣近所の人	知人・友人	民生委員・児童委員	行政機関の窓口	社会福祉協議会
全体		1,714	845	463	125	392	44	727	195
		100.0	49.3	27.0	7.3	22.9	2.6	42.4	11.4
年代別	20歳代	112	77	21	3	41	0	27	1
		100.0	68.8	18.8	2.7	36.6	0.0	24.1	0.9
	30歳代	196	100	63	3	62	1	70	9
		100.0	51.0	32.1	1.5	31.6	0.5	35.7	4.6
	40歳代	242	114	74	15	73	1	110	17
		100.0	47.1	30.6	6.2	30.2	0.4	45.5	7.0
	50歳代	259	119	69	13	63	4	113	26
		100.0	45.9	26.6	5.0	24.3	1.5	43.6	10.0
	60歳代	422	199	100	38	84	8	224	65
		100.0	47.2	23.7	9.0	19.9	1.9	53.1	15.4
	70歳代	471	231	132	53	69	29	181	77
		100.0	49.0	28.0	11.3	14.6	6.2	38.4	16.3
居住地区別	古河地区	683	336	182	38	151	12	310	82
		100.0	49.2	26.6	5.6	22.1	1.8	45.4	12.0
	総和地区	560	285	155	54	142	7	221	65
		100.0	50.9	27.7	9.6	25.4	1.3	39.5	11.6
	三和地区	412	201	105	30	90	18	176	44
		100.0	48.8	25.5	7.3	21.8	4.4	42.7	10.7

		合計	保健や福祉サービスの事業者	保健や福祉に関わる活動をしているＮＰＯ（公益活動を行う非営利の組織）やボランティア団体	かかりつけの医療機関	相談しない	わからない	無回答
全体		1,714	253	61	360	19	136	33
		100.0	14.8	3.6	21.0	1.1	7.9	1.9
年代別	20歳代	112	9	1	12	3	9	1
		100.0	8.0	0.9	10.7	2.7	8.0	0.9
	30歳代	196	20	5	26	3	24	4
		100.0	10.2	2.6	13.3	1.5	12.2	2.0
	40歳代	242	29	9	37	3	26	3
		100.0	12.0	3.7	15.3	1.2	10.7	1.2
	50歳代	259	49	9	47	2	29	7
		100.0	18.9	3.5	18.1	0.8	11.2	2.7
	60歳代	422	74	16	108	4	22	6
		100.0	17.5	3.8	25.6	0.9	5.2	1.4
	70歳代	471	69	21	127	4	26	10
		100.0	14.6	4.5	27.0	0.8	5.5	2.1
居住地区別	古河地区	683	86	31	150	8	54	13
		100.0	12.6	4.5	22.0	1.2	7.9	1.9
	総和地区	560	80	19	110	5	40	11
		100.0	14.3	3.4	19.6	0.9	7.1	2.0
	三和地区	412	78	8	86	4	39	8
		100.0	18.9	1.9	20.9	1.0	9.5	1.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

６　地域福祉の目標・ビジョンについて

（40）古河市に期待するまちの在り方

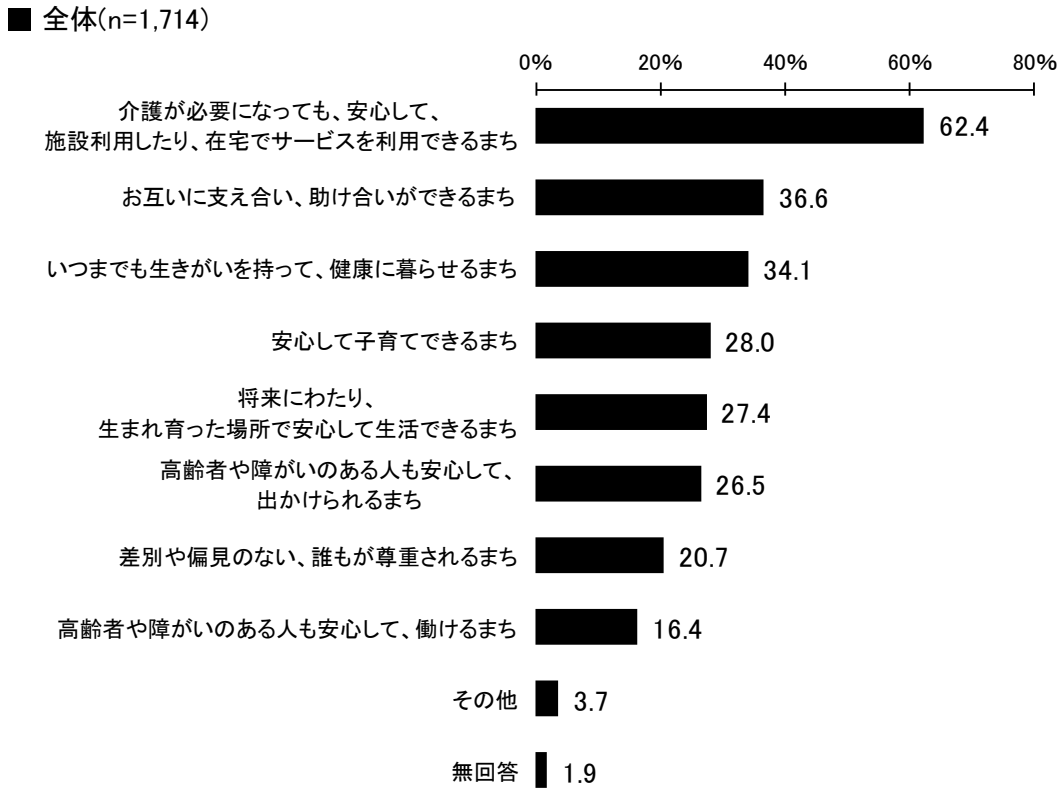
問36　あなたは古河市にどのようなまちになってほしいですか。**【複数回答】**

古河市に期待するまちの在り方については、全体では「介護が必要になっても、安心して、施設利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」の割合が 62.4％で割合が最も高く、次いで「お互いに支え合い、助け合いができるまち」(36.6％)、「いつまでも生きがいを持って、健康に暮らせるまち」（34.1％）などの順となっています。

年代別でみると、30 歳代以下の年代は「安心して子育てできるまち」、40 歳代以上の年代は「介護が必要になっても、安心して、施設利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「介護が必要になっても、安心して、施設利用したり、在宅でサービスを利用できるまち」の割合が最も高くなっています。

古河市に期待するまちの在り方【複数回答】／全体



古河市に期待するまちの在り方【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	お互いに支え合い、助け合いができるまち	差別や偏見のない、誰もが尊重されるまち	安心して子育てできるまち	高齢者や障がいのある人も安心して、働けるまち	高齢者や障がいのある人も安心して、出かけられるまち	将来にわたり、生まれ育った場所で安心して生活できるまち	介護が必要になっても、安心して、施設利用したり、在宅でサービスを利用できるまち	いつまでも生きがいを持って、健康に暮らせるまち	その他	無回答
全体		1,714	628	354	480	281	455	469	1,069	585	63	32
		100.0	36.6	20.7	28.0	16.4	26.5	27.4	62.4	34.1	3.7	1.9
年代別	20歳代	112	40	37	49	16	15	43	34	31	7	2
		100.0	35.7	33.0	43.8	14.3	13.4	38.4	30.4	27.7	6.3	1.8
	30歳代	196	49	37	127	30	31	65	85	38	12	4
		100.0	25.0	18.9	64.8	15.3	15.8	33.2	43.4	19.4	6.1	2.0
	40歳代	242	70	59	102	50	57	67	132	67	14	3
		100.0	28.9	24.4	42.1	20.7	23.6	27.7	54.5	27.7	5.8	1.2
	50歳代	259	84	41	62	49	67	71	158	94	12	4
		100.0	32.4	15.8	23.9	18.9	25.9	27.4	61.0	36.3	4.6	1.5
	60歳代	422	164	86	85	73	129	127	307	166	7	8
		100.0	38.9	20.4	20.1	17.3	30.6	30.1	72.7	39.3	1.7	1.9
	70歳代	471	217	93	52	59	155	95	345	185	11	10
		100.0	46.1	19.7	11.0	12.5	32.9	20.2	73.2	39.3	2.3	2.1
居住地区別	古河地区	683	251	127	177	107	184	190	421	250	29	14
		100.0	36.7	18.6	25.9	15.7	26.9	27.8	61.6	36.6	4.2	2.0
	総和地区	560	202	125	170	88	149	161	356	189	15	8
		100.0	36.1	22.3	30.4	15.7	26.6	28.8	63.6	33.8	2.7	1.4
	三和地区	412	152	93	123	79	111	109	256	125	13	8
		100.0	36.9	22.6	29.9	19.2	26.9	26.5	62.1	30.3	3.2	1.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（41）古河市の地域福祉で重視すべき点

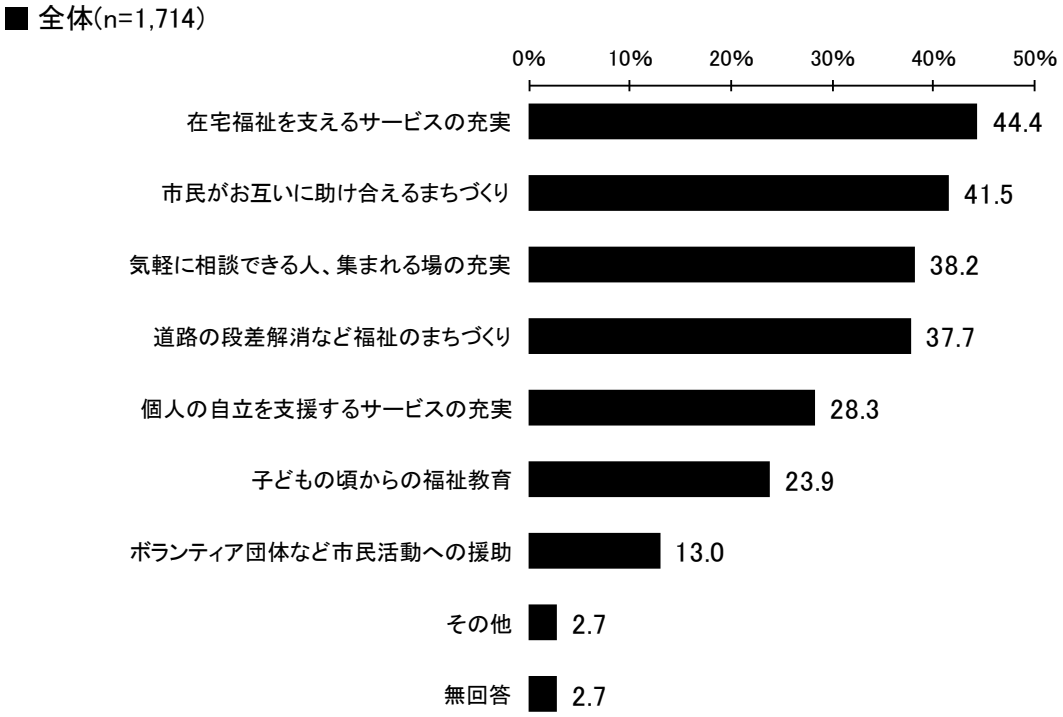
問37　古河市の地域福祉では何を重点にすべきだと思いますか。**【複数回答】**

古河市の地域福祉で重視すべき点については、全体では「在宅福祉を支えるサービスの充実」の割合が 44.4％で割合が最も高く、次いで「市民がお互いに助け合えるまちづくり」（41.5％）、「気軽に相談できる人、集まれる場の充実」（38.2％）などの順となっています。

年代別でみると、30 歳代以下の年代は「道路の段差解消など福祉のまちづくり」、40 歳代・50 歳代・60 歳代は「在宅福祉を支えるサービスの充実」、70 歳代は「市民がお互いに助け合えるまちづくり」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「在宅福祉を支えるサービスの充実」の割合が最も高くなっています。

古河市の地域福祉で重視すべき点【複数回答】／全体



古河市の地域福祉で重視すべき点【複数回答】／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	市民がお互いに助け合えるまちづくり	気軽に相談できる人、集まれる場の充実	ボランティア団体など市民活動への援助	個人の自立を支援するサービスの充実	在宅福祉を支えるサービスの充実	子どもの頃からの福祉教育	道路の段差解消など福祉のまちづくり	その他	無回答
全体		1,714	712	654	222	485	761	409	647	47	47
		100.0	41.5	38.2	13.0	28.3	44.4	23.9	37.7	2.7	2.7
年代別	20歳代	112	42	30	12	34	36	37	52	0	2
		100.0	37.5	26.8	10.7	30.4	32.1	33.0	46.4	0.0	1.8
	30歳代	196	60	70	26	55	53	82	87	5	3
		100.0	30.6	35.7	13.3	28.1	27.0	41.8	44.4	2.6	1.5
	40歳代	242	68	82	28	76	96	82	94	14	3
		100.0	28.1	33.9	11.6	31.4	39.7	33.9	38.8	5.8	1.2
	50歳代	259	76	86	36	74	119	61	111	11	12
		100.0	29.3	33.2	13.9	28.6	45.9	23.6	42.9	4.2	4.6
	60歳代	422	180	180	67	125	212	83	148	8	15
		100.0	42.7	42.7	15.9	29.6	50.2	19.7	35.1	1.9	3.6
	70歳代	471	281	201	51	118	240	60	152	9	12
		100.0	59.7	42.7	10.8	25.1	51.0	12.7	32.3	1.9	2.5
居住地区別	古河地区	683	279	254	89	210	298	145	270	22	15
		100.0	40.8	37.2	13.0	30.7	43.6	21.2	39.5	3.2	2.2
	総和地区	560	231	213	76	152	250	150	204	13	12
		100.0	41.3	38.0	13.6	27.1	44.6	26.8	36.4	2.3	2.1
	三和地区	412	177	165	50	112	187	101	153	10	19
		100.0	43.0	40.0	12.1	27.2	45.4	24.5	37.1	2.4	4.6

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

7　社会福祉協議会について

（42）地域福祉活動を推進する「古河市社会福祉協議会」の認知

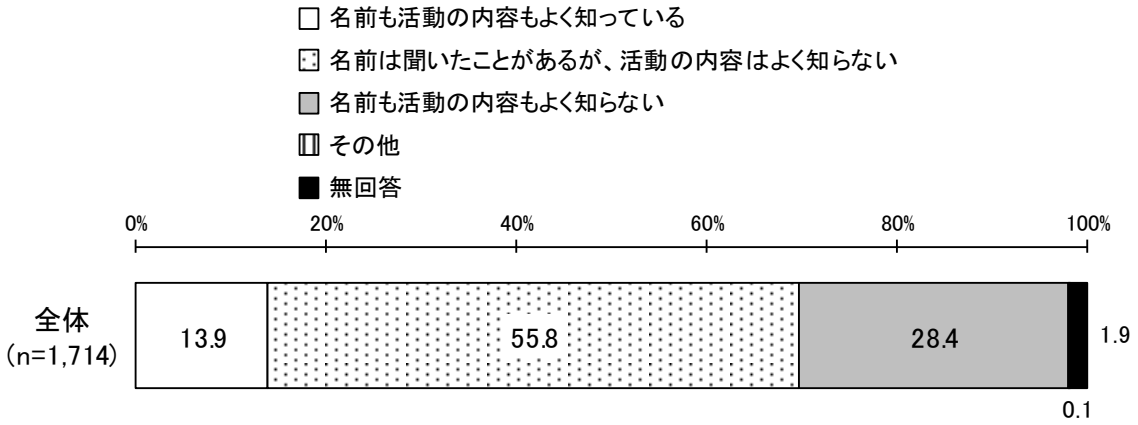
問38　市内には、社会福祉への住民参加を促して地域福祉を推進する「古河市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織をご存知ですか。

地域福祉活動を推進する「古河市社会福祉協議会」の認知については、全体では「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」の割合が 55.8％で割合が最も高く、５割半ばを占めています。次いで「名前も活動の内容もよく知らない」（28.4％）、「名前も活動の内容もよく知っている」（13.9％）などの順となっています。

年代別でみると、30 歳代以下の年代は「名前も活動の内容もよく知らない」、40 歳代以上の年代は「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」の割合が最も高くなっています。

地域福祉活動を推進する「古河市社会福祉協議会」の認知／全体



地域福祉活動を推進する「古河市社会福祉協議会」の認知／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	名前も活動の内容もよく知っている	名前はあるが、活動の内容はよく知らない	名前も活動の内容もよく知らない	その他	無回答
全体		1,714 100.0	238 13.9	956 55.8	486 28.4	2 0.1	32 1.9
年代別	20歳代	112 100.0	4 3.6	28 25.0	78 69.6	0 0.0	2 1.8
	30歳代	196 100.0	11 5.6	78 39.8	104 53.1	0 0.0	3 1.5
	40歳代	242 100.0	23 9.5	120 49.6	96 39.7	0 0.0	3 1.2
	50歳代	259 100.0	29 11.2	144 55.6	79 30.5	1 0.4	6 2.3
	60歳代	422 100.0	61 14.5	286 67.8	66 15.6	1 0.2	8 1.9
	70歳代	471 100.0	110 23.4	292 62.0	59 12.5	0 0.0	10 2.1
居住地区別	古河地区	683 100.0	106 15.5	390 57.1	177 25.9	0 0.0	10 1.5
	総和地区	560 100.0	80 14.3	318 56.8	153 27.3	0 0.0	9 1.6
	三和地区	412 100.0	50 12.1	224 54.4	128 31.1	1 0.2	9 2.2

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(43) 地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの認知

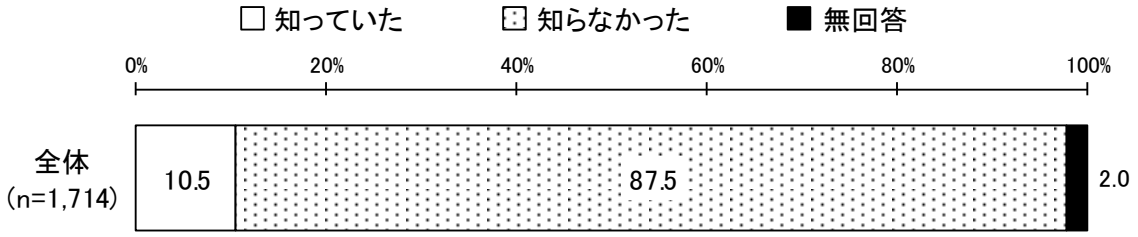
問39　上記のような、地域住民が主体となって地域の福祉課題に向き合い、地域の人自身で解決していこうという取り組みがあることついて、あなたは知っていましたか。

地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの認知については、全体では「知らなかった」の割合が87.5%で、「知っていた」(10.5%) の割合を大きく上回っています。

年代別でみると、すべての年代において全体と同様に「知らなかった」が「知っていた」の割合を上回っていますが、年代が上がるにつれ少しずつ低くなる傾向にあります。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「知らなかった」の割合が最も高くなっています。

地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの認知／全体



地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの認知／全体、年代別、居住地区別

上段：n　下段：%

		合計	知っていた	知らなかった	無回答
全体		1,714 100.0	180 10.5	1,499 87.5	35 2.0
年代別	20歳代	112 100.0	5 4.5	106 94.6	1 0.9
	30歳代	196 100.0	11 5.6	182 92.9	3 1.5
	40歳代	242 100.0	16 6.6	224 92.6	2 0.8
	50歳代	259 100.0	29 11.2	225 86.9	5 1.9
	60歳代	422 100.0	47 11.1	364 86.3	11 2.6
	70歳代	471 100.0	70 14.9	388 82.4	13 2.8
居住地区別	古河地区	683 100.0	81 11.9	589 86.2	13 1.9
	総和地区	560 100.0	58 10.4	493 88.0	9 1.6
	三和地区	412 100.0	39 9.5	363 88.1	10 2.4

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（44）地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みへの関心

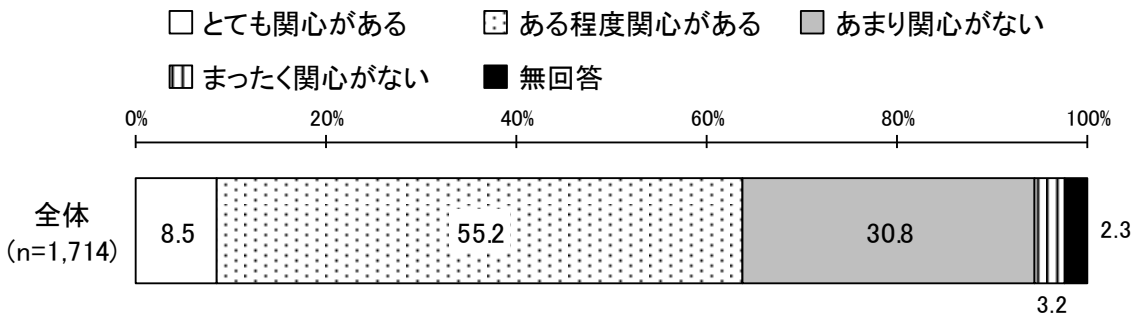
問40　上記のような、地域住民が主体となって地域の福祉課題に向き合い、地域の人自身で解決していこうという取り組みについて、あなたはどのように思いますか。

地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みへの関心については、全体では「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 63.7％で、「あまり関心がない」（30.8％）と「まったく関心がない」（3.2％）を合わせた“関心がない”（34.0％）の割合を上回っています。

年代別でみると、30 歳代以下の年代は“関心がない”が“関心がある”の割合を上回っていますが、年代が上がるにつれ“関心がある”の割合が高くなり、40 歳代以上は“関心がある”が“関心がない”の割合を上回っています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に“関心がある”が“関心がない”の割合を上回っています。

地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みへの関心／全体



地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みへの関心／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
全体		1,714	146	946	528	55	39
		100.0	8.5	55.2	30.8	3.2	2.3
年代別	20歳代	112	5	47	53	6	1
		100.0	4.5	42.0	47.3	5.4	0.9
	30歳代	196	9	85	82	18	2
		100.0	4.6	43.4	41.8	9.2	1.0
	40歳代	242	17	116	92	14	3
		100.0	7.0	47.9	38.0	5.8	1.2
	50歳代	259	14	140	94	5	6
		100.0	5.4	54.1	36.3	1.9	2.3
	60歳代	422	30	260	113	9	10
		100.0	7.1	61.6	26.8	2.1	2.4
	70歳代	471	68	295	88	3	17
		100.0	14.4	62.6	18.7	0.6	3.6
居住地区別	古河地区	683	59	379	201	29	15
		100.0	8.6	55.5	29.4	4.2	2.2
	総和地区	560	48	311	178	14	9
		100.0	8.6	55.5	31.8	2.5	1.6
	三和地区	412	34	230	128	9	11
		100.0	8.3	55.8	31.1	2.2	2.7

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（45）地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの勉強会や協議体の参加希望

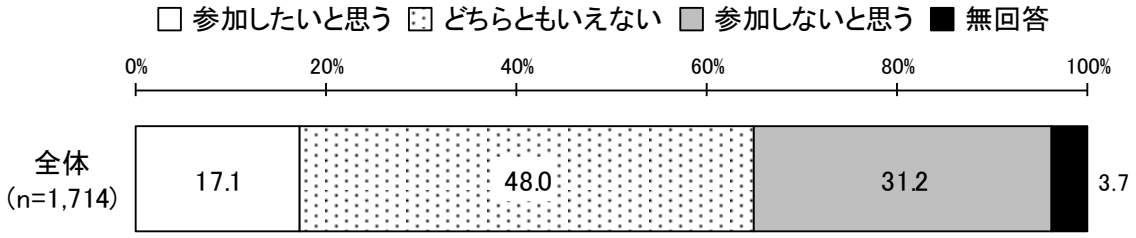
問41　あなたの地域で、地域住民が主体となって地域の福祉課題に向き合い、地域の人自身で解決していこうという取り組みについて話し合う勉強会や協議体（話し合いの場）があった場合、あなたはどうしますか。またその理由もお書きください。

地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの勉強会や協議体の参加希望については、全体では「参加しないと思う」の割合が 31.2％で、「参加したいと思う」（17.1％）の割合を上回っています。なお、「どちらともいえない」は 48.0％となっています。

年代別でみると、30 歳代は「参加しないと思う」、それ以外の年代は「どちらともいえない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの勉強会や協議体の参加希望／全体



地域住民自ら福祉課題を解決する取り組みの勉強会や協議体の参加希望
／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	参加したいと思う	どちらともいえない	参加しないと思う	無回答
全体		1,714 100.0	293 17.1	822 48.0	535 31.2	64 3.7
年代別	20歳代	112 100.0	10 8.9	51 45.5	50 44.6	1 0.9
	30歳代	196 100.0	19 9.7	81 41.3	94 48.0	2 1.0
	40歳代	242 100.0	25 10.3	111 45.9	102 42.1	4 1.7
	50歳代	259 100.0	30 11.6	140 54.1	83 32.0	6 2.3
	60歳代	422 100.0	83 19.7	212 50.2	107 25.4	20 4.7
	70歳代	471 100.0	123 26.1	222 47.1	96 20.4	30 6.4
居住地区別	古河地区	683 100.0	126 18.4	326 47.7	211 30.9	20 2.9
	総和地区	560 100.0	99 17.7	266 47.5	172 30.7	23 4.1
	三和地区	412 100.0	61 14.8	206 50.0	129 31.3	16 3.9

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

（46）社会福祉協議会による「社協だより」やＨＰの認知

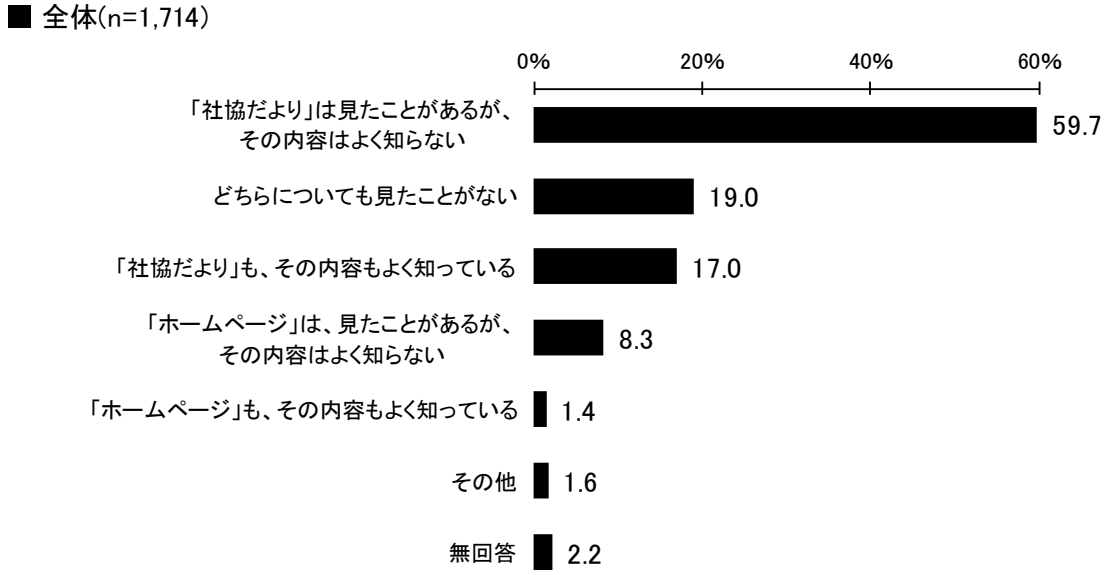
問42　あなたは、社会福祉協議会が発行している「社協だより」（年４回程度市の広報と一緒に全戸配布しているもの）やホームページ（ももちゃんブログ等）についてどの程度知っていますか。**【複数回答】**

社会福祉協議会による「社協だより」やＨＰの認知については、全体では「『社協だより』は見たことがあるが、その内容はよく知らない」の割合が 59.7％で割合が最も高く、他の項目を引き離しています。次いで「どちらについても見たことがない」（19.0％）、「『社協だより』も、その内容もよく知っている」（17.0％）などの順となっています。

年代別でみると、20 歳代は「どちらについても見たことがない」、それ以外の年代は「『社協だより』は見たことがあるが、その内容はよく知らない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての地区において全体と同様に「『社協だより』は見たことがあるが、その内容はよく知らない」の割合が最も高くなっています。

社会福祉協議会による「社協だより」やＨＰの認知【複数回答】／全体



社会福祉協議会による「社協だより」やＨＰの認知【複数回答】
／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	「社協だより」も、その内容もよく知っている	「社協だより」は見たことがあるが、その内容はよく知らない	「ホームページ」も、その内容もよく知っている	「ホームページ」は、見たことがあるが、その内容はよく知らない	どちらについても見たことがない	その他	無回答
全体		1,714	291	1,024	24	142	326	28	37
		100.0	17.0	59.7	1.4	8.3	19.0	1.6	2.2
年代別	20歳代	112	6	28	4	14	68	0	1
		100.0	5.4	25.0	3.6	12.5	60.7	0.0	0.9
	30歳代	196	17	90	4	14	83	3	1
		100.0	8.7	45.9	2.0	7.1	42.3	1.5	0.5
	40歳代	242	26	140	1	17	69	4	2
		100.0	10.7	57.9	0.4	7.0	28.5	1.7	0.8
	50歳代	259	32	165	1	23	47	3	7
		100.0	12.4	63.7	0.4	8.9	18.1	1.2	2.7
	60歳代	422	78	292	5	31	33	10	10
		100.0	18.5	69.2	1.2	7.3	7.8	2.4	2.4
	70歳代	471	129	304	9	40	24	8	15
		100.0	27.4	64.5	1.9	8.5	5.1	1.7	3.2
居住地区別	古河地区	683	130	415	12	58	110	14	12
		100.0	19.0	60.8	1.8	8.5	16.1	2.0	1.8
	総和地区	560	101	335	9	47	104	7	10
		100.0	18.0	59.8	1.6	8.4	18.6	1.3	1.8
	三和地区	412	56	249	2	30	91	4	10
		100.0	13.6	60.4	0.5	7.3	22.1	1.0	2.4

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(47) 社会福祉協議会の「古河市生活支援センター」の活動の認知

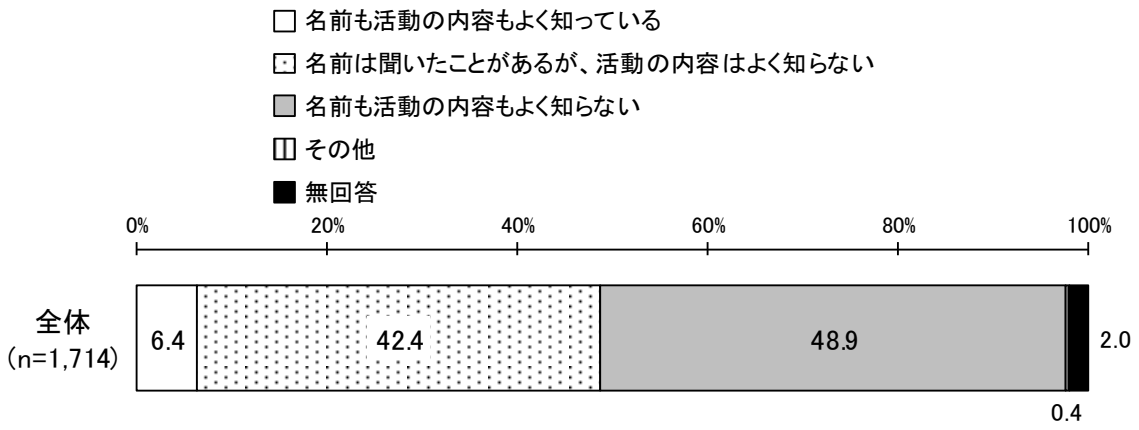
問43　あなたは、社会福祉協議会が「健康の駅」内で実施している「古河市生活支援センター」の活動（古河市の生活困窮者の自立支援の相談・援助の窓口）についてどの程度知っていますか。

社会福祉協議会の「古河市生活支援センター」の活動の認知については、全体では「名前も活動の内容もよく知らない」の割合が48.9%で割合が最も高く、次いで「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」（42.4%）などの順となっています。

年代別でみると、50歳代以下の年代は「名前も活動の内容もよく知らない」、60歳代以上は「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地区別でみると、総和地区は「名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない」、それ以外の地区は「名前も活動の内容もよく知らない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

社会福祉協議会の「古河市生活支援センター」の活動の認知／全体



社会福祉協議会の「古河市生活支援センター」の活動の認知／全体、年代別、居住地区別

上段：ｎ　下段：％

		合計	名前も活動の内容もよく知っている	名前はあるが、活動の内容はよく知らない	名前も活動の内容もよく知らない	その他	無回答
全体		1,714	109	726	839	6	34
		100.0	6.4	42.4	48.9	0.4	2.0
年代別	20歳代	112	2	26	83	0	1
		100.0	1.8	23.2	74.1	0.0	0.9
	30歳代	196	7	56	131	1	1
		100.0	3.6	28.6	66.8	0.5	0.5
	40歳代	242	9	67	164	0	2
		100.0	3.7	27.7	67.8	0.0	0.8
	50歳代	259	14	103	135	1	6
		100.0	5.4	39.8	52.1	0.4	2.3
	60歳代	422	30	198	182	3	9
		100.0	7.1	46.9	43.1	0.7	2.1
	70歳代	471	46	268	141	1	15
		100.0	9.8	56.9	29.9	0.2	3.2
居住地区別	古河地区	683	44	276	352	0	11
		100.0	6.4	40.4	51.5	0.0	1.6
	総和地区	560	41	256	251	2	10
		100.0	7.3	45.7	44.8	0.4	1.8
	三和地区	412	23	175	202	3	9
		100.0	5.6	42.5	49.0	0.7	2.2

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

(48) 社会福祉協議会が行う活動の認知状況

問44　あなたは、社会福祉協議会が行っている活動でどのようなものを知っていますか。
【複数回答】

社会福祉協議会が行う活動の認知状況については、全体では「共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい、災害義援金受付)」の割合が 51.8%で割合が最も高く、次いで「居宅介護支援事業（ケアマネージャー)」(33.0%)、「訪問介護事業（ホームヘルパー)」(32.5%)、「福祉まつり(ふれあい広場､手づくりまつり)」(29.3%)､「歳末たすけあい募金配分事業」(27.4%)などの順となっています。

活動内容の分類としては、【地域支援】、【介護保険事業等】、【ボランティア関係】などの活動が上位にあがっています。

社会福祉協議会が行う活動の認知状況【複数回答】／全体

分類	事業内容	認知度
【地域支援】	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい、災害義援金受付）	51.8%
【介護保険事業等】	居宅介護支援事業（ケアマネージャー）	33.0%
【介護保険事業等】	訪問介護事業（ホームヘルパー）	32.5%
【ボランティア関係】	福祉まつり（ふれあい広場、手づくりまつり）	29.3%
【地域支援】	歳末たすけあい募金配分事業	27.4%
【地域支援】	福祉用具等貸出事業（車イス・介護ベッド）	27.4%
【高齢者・障がい者関係】	ひとり暮らし高齢者給食（会食）サービス	19.8%
【高齢者・障がい者関係】	総和老人福祉センター「せせらぎの里」の運営	18.1%
【事務局等】	古河市老人クラブ連合会	17.7%
【介護保険事業等】	地域包括支援センター（古河地区・三和地区）	14.5%
【事務局等】	古河市ボランティア協会	14.3%
【地域支援】	心配ごと相談事業	14.0%
【高齢者・障がい者関係】	ふれあいデイサービス「ふれあいの湯」	12.1%
【ボランティア関係】	ボランティア登録・派遣	11.7%
【地域支援】	古河市認定ヘルパー養成研修	11.3%
【高齢者・障がい者関係】	ふれあいいきいきサロン活動の支援	9.5%
【高齢者・障がい者関係】	日常生活自立支援事業	9.1%
【ボランティア関係】	ボランティア・地域サポーターの養成（傾聴・おもちゃドクター・災害）	8.2%
【地域支援】	成年後見事業（法人後見の受任、市民後見人養成）	7.7%
【介護保険事業等】	移送サービス事業	7.6%
【事務局等】	古河市身体障害者（児）福祉団体連合会	7.4%
【地域支援】	生活困窮者自立支援事業（自立相談支援、住居確保給付金、家計改善支援）	6.6%
【高齢者・障がい者関係】	在宅福祉サービスセンター運営事業（ももちゃんお助け隊）	6.0%
【介護保険事業等】	介護予防・日常生活支援総合事業	5.7%
【介護保険事業等】	障害者移動支援事業	5.5%
【ボランティア関係】	学生ボランティア「ふうせん」の育成	5.0%
【高齢者・障がい者関係】	陶芸教室	4.8%
【介護保険事業等】	指定居宅介護事業	4.6%
【高齢者・障がい者関係】	障がい者一時預かりデイステイ『のぞみ・さんわ』	4.2%
【地域支援】	貸付事業（生活福祉資金、生活一時資金、臨時特例つなぎ資金）	4.0%
【地域支援】	生活支援体制整備事業	2.7%
【ボランティア関係】	ボランティア活動保険の取扱い	2.4%
【地域支援】	地域力強化推進事業	2.2%
【ボランティア関係】	ふくしチャレンジスクール（やッチャオ・行ッチャオ）	2.0%
【ボランティア関係】	ボランティア活動事業協力校の指定助成	1.3%

※認知度の高い項目から降順

(49) 社会福祉協議会が行うなかで期待する活動

問45　あなたは、社会福祉協議会が行っている活動のうち、今後、どのような活動について期待しますか。**【上位３つを選択】**

この設問は、選択項目の中から設問に該当するものを上位３つまでお選びいただき、１位の項目を３ポイント、２位の項目を２ポイント、３位の項目を１ポイントとして合計し、それぞれの項目のポイントを出しています。

社会福祉協議会が行うなかで期待する活動については、全体では「訪問介護事業（ホームヘルパー)」(817pt）のポイントが最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者給食（会食）サービス」(712pt)、「居宅介護支援事業（ケアマネージャー)」(617pt)、「日常生活自立支援事業」（392pt)、「在宅福祉サービスセンター運営事業（ももちゃんお助け隊)」(332pt）などの順となっています。

活動内容の分類としては、【介護保険事業等】、【高齢者・障がい者関係】などの活動が上位にあがっています。

今後の社会福祉協議会が行うなかで期待する活動／全体

分類	事業内容	ポイント
【介護保険事業等】	訪問介護事業（ホームヘルパー）	817pt
【高齢者・障がい者関係】	ひとり暮らし高齢者給食（会食）サービス	712pt
【介護保険事業等】	居宅介護支援事業（ケアマネージャー）	617pt
【高齢者・障がい者関係】	日常生活自立支援事業	392pt
【高齢者・障がい者関係】	在宅福祉サービスセンター運営事業（ももちゃんお助け隊）	332pt
【地域支援】	生活困窮者自立支援事業（自立相談支援、住居確保給付金、家計改善支援）	324pt
【地域支援】	心配ごと相談事業	294pt
【介護保険事業等】	介護予防・日常生活支援総合事業	255pt
【地域支援】	福祉用具等貸出事業（車イス・介護ベッド）	194pt
【地域支援】	生活支援体制整備事業	192pt
【介護保険事業等】	地域包括支援センター（古河地区・三和地区）	181pt
【ボランティア関係】	ボランティア登録・派遣	180pt
【介護保険事業等】	移送サービス事業	170pt
【ボランティア関係】	ボランティア・地域サポーターの養成（傾聴・おもちゃドクター・災害）	158pt
【地域支援】	古河市認定ヘルパー養成研修	158pt
【地域支援】	地域力強化推進事業	142pt
【ボランティア関係】	福祉まつり（ふれあい広場、手づくりまつり）	114pt
【事務局等】	古河市ボランティア協会	114pt
【高齢者・障がい者関係】	ふれあいいきいきサロン活動の支援	106pt
【地域支援】	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい、災害義援金受付）	106pt
【高齢者・障がい者関係】	総和老人福祉センター「せせらぎの里」の運営	102pt
【地域支援】	成年後見事業（法人後見の受任、市民後見人養成）	102pt
【高齢者・障がい者関係】	ふれあいデイサービス「ふれあいの湯」	94pt
【地域支援】	貸付事業（生活福祉資金、生活一時資金、臨時特例つなぎ資金）	85pt
【介護保険事業等】	障害者移動支援事業	77pt
【ボランティア関係】	学生ボランティア「ふうせん」の育成	74pt
【事務局等】	古河市老人クラブ連合会	67pt
【高齢者・障がい者関係】	障がい者一時預かりデイステイ『のぞみ・さんわ』	62pt
【介護保険事業等】	指定居宅介護事業	52pt
【事務局等】	古河市身体障害者（児）福祉団体連合会	48pt
【ボランティア関係】	ボランティア活動保険の取扱い	32pt
【ボランティア関係】	ボランティア活動事業協力校の指定助成	29pt
【地域支援】	歳末たすけあい募金配分事業	25pt
【ボランティア関係】	ふくしチャレンジスクール（やッチャオ・行ッチャオ）	23pt
【高齢者・障がい者関係】	陶芸教室	15pt

※ポイント数の高い項目から降順

自由意見

(50) 社会福祉協議会に期待すること

社会福祉協議会に期待することがあればご記入ください。≪自由記述≫

社会福祉協議会に期待することについて、自由記述の回答内容を 13 の分類に分け、その一部を分類ごとにそれぞれ記載しています。総件数は 155 件となっています。また、回答の中には１つの回答に複数の意見が含まれているものもあるため、回答内容ごとの件数を足し合わせても総件数とは一致しません。

①子ども子育て＜15 件／155 件＞

子どもの貧困の救済、子ども食堂の設置、子どもが集まれる・遊べる場所・施設の確保、といった意見がみられました。

②高齢者＜37 件／155 件＞

高齢者サポート事業の充実、認定者の無料タクシー制度、高齢世帯見守りサービス、といった意見がみられました。

③障がい者＜７件／155 件＞

障がい者と健常者の交流、障がい者と高齢者の家庭の支援、障がい者などが安心してサービスを受けられる場の確保、といった意見がみられました。

④健康・医療＜６件／155 件＞

病気の際のサポート体制の確保、健康講座・体操教室の実施、配偶者が病気になった際の支援、といった意見がみられました。

⑤地域・環境＜13 件／155 件＞

子どもから高齢者まで住みやすい福祉の充実したまちづくり、コミュニケーションのあるまちづくりの推進、バリアフリーの場所の充実、といった意見がみられました。

⑥災害・治安＜４件／155 件＞

地域支援による犯罪・事件・事故の軽減、高齢者世帯に災害時の知らせを放送する無線ラジオの設置、災害状況の広報車等での発信、といった意見がみられました。

⑦移動・交通＜11 件／155 件＞

交通機関の充実、高齢者・障がい者・病気等の人が安心して買物や病院に行く移動手段の考案、子どもの通る道などにガードレールなどの安全の確保、といった意見がみられました。

⑧情報・発信＜30 件／155 件＞

社会福祉協議会の活動内容について、情報発信方法の工夫、広報活動の強化、活動の住民への可視化、といった意見がみられました。

⑨相談＜３件／155 件＞

必要な支援ができる事業・相談員の充実、様々な問題解決の方法を提案できるような人材の確保、気軽に相談できる環境づくり、といった意見がみられました。

⑩ボランティア＜４件／155 件＞

ホームページなどでのボランティア活動の案内、小・中学生がボランティア活動に力を注げるプログラム、部門別に活動力のあるボランティアの育成、といった意見がみられました。

⑪制度・取組＜24 件／155 件＞

地域の様々な団体をつなぐ役割、地域に密着した住民サービス、地域住民と協同した活動、といった意見がみられました。

⑫予算＜８件／155 件＞

社会福祉事業の予算の増額、税金の有効活用、古河市が発展できるような予算の活用、といった意見がみられました。

⑬その他＜42 件／155 件＞

地域住民のためによりよいサービスを考えていっていただきたい、社会福祉協議会に携わっているひとが我々の代表として頑張ってほしい、これからもいっそうの活動をお願いしたい、といった意見がみられました。

(51) 社会福祉協議会に関する意見・感想

古河市社会福祉協議会に関して、その他、ご意見、ご感想があればお聞かせください。
≪自由記述≫

社会福祉協議会に関する意見・感想について、自由記述の回答内容を社会福祉協議会に対して肯定的な意見、否定的な意見、いずれでもない意見、提案・要望、社会福祉協議会の存在や活動内容を知らない、といった意見に分類に分け、それぞれの一部を分類ごとに記載しています。総件数は 140 件となっています。

○肯定的意見＜25 件／140 件＞

中間的な組織なので相談がしやすい、高齢者サポートセンターのそれぞれの専門職担当の皆様に感謝している、社会福祉協議会の皆様には大変助けていただいた、といった意見がみられました。

○否定的意見＜16 件／140 件＞

相談したことが解決しなかった、場所が不便である、貸し出しをしている介護用品の清潔感が欠けている、といった意見がみられました。

○いずれでもない＜10 件／140 件＞

生活が安定しないとボランティアまで手が届かない、働き方が多様化している昨今は近所付き合いが軽薄になるのは当然である、年齢・家族構成・環境の違いで関心度も異なる、といった意見がみられました。

○提案・要望＜79 件／140 件＞

親しみやすい愛称をつけるとよい、様々な意見を反映した活動体制であるとよい、支援の内容・利用方法についての周知をしてほしい、といった意見がみられました。

○社会福祉協議会の存在や活動内容がわからない・知らない等＜10 件／140 件＞

組織の存在自体が理解しがたい、活動内容がよくわからない、活動・情報を知らない、といった意見がみられました。

(52) 古河市の地域福祉に関する意見・感想

古河市の地域福祉・地域福祉計画に関して、ご意見・ご感想があればお聞かせください。
≪自由記述≫

古河市の地域福祉に関する意見・感想について、自由記述の回答内容を 13 の分類に分け、その一部を分類ごとにそれぞれ記載しています。総件数は 170 件となっています。また、回答の中には１つの回答に複数の意見が含まれているものもあるため、回答内容ごとの件数を足し合わせても総件数とは一致しません。

①子ども子育て＜11 件／170 件＞

児童虐待防止に取り組んでほしい、子育て支援センターの活動・子育てイベントの告知等を広報に入れてもらいたい、子どもの遊べる公園を増やしてほしい、といった意見がみられました。

②高齢者＜35 件／170 件＞

高齢者の健康増進のために体力測定などの場所を提供してほしい、高齢者が食事やお茶ができるサロンがあればよい、高齢者でも行政の手続きがしやすくなるといい、といった意見がみられました。

③障がい者＜10 件／170 件＞

マル福の制度で医療費が抑えられて助かっている、障がい者雇用の場を増やしてほしい、長期雇用を推進してほしい、といった意見がみられました。

④健康・医療＜９件／170 件＞

医療現場の 24 時間体制診療の公的支援を行うなどして地域医療の充実を図ってほしい、若い時から健康老人を目指すまちづくりをしてほしい、いつまでも運動を続けたいので古河市の体育館の修繕をしてほしい、といった意見がみられました。

⑤地域・環境＜34 件／170 件＞

住民が生活しやすい環境づくりをしてほしい、様々な場所で車いすやベビーカーなどに優しいまちになってほしい、大型商業施設を増やしてほしい、といった意見がみられました。

⑥災害・治安＜７件／170 件＞

公園や集会所の老朽化が激しく災害時に避難ができない、災害時の避難場所・方法についての再確認がしたい、各地で水害が発生しているので排水関係をなんとかしてほしい、といった意見がみられました。

⑦移動・交通＜21 件／170 件＞

免許返納後の交通問題を検討・実施していただきたい、公共交通機関をもっと便利にしてほしい、歩車分離・ガードレールの設置といった道路整備をしてほしい、といった意見がみられました。

⑧情報・発信＜20 件／170 件＞

現代のニーズに合った情報の発信によって若い人達の関心を集めれば変化が生まれるかもしれない、計画の存在を発信・認知してもらうことが大切だと思う、活動内容について広報で情報をもっと出してほしい、といった意見がみられました。

⑨相談＜３件／170 件＞

困ったときに相談できる窓口を広げておいてほしい、土日を含めて“心配ごと相談事業”の電話を一本に集中し応対してくれれば安心だ、民生委員に相談を聞いてもらえなかった、といった意見がみられました。

⑩ボランティア＜２件／170 件＞

災害時のためにも市内でボランティア可能な専門職の情報をまとめてほしい、家事で忙しいときに子どもをみてくれるボランティアなどがいたらよい、といった意見がみられました。

⑪制度・取組＜18 件／170 件＞

若いときから社会福祉協議会に関心を持ってもらうようにしていただきたい、現場の状況は見聞することによって対応がみえてくるので実際に現場に来るべきだと思う、支援する側になにかしらの利益があるといいのではないか、といった意見がみられました。

⑫予算＜12 件／170 件＞

未来ある子どもたちへの投資を望む、万人に必要な医療に対する充実に予算をあてるべきである、福祉に対しての予算の増額を希望する、といった意見がみられました。

⑬その他＜39 件／170 件＞

一人一人に優しい福祉の在り方をもっと考えてほしい、計画の内容をよく見てみようと思った、これからの古河市の発展にお手伝いできたらと思う、といった意見がみられました。

地域福祉アンケート調査
結果報告書

令和元年 12 月
古河市

〒306-0221　茨城県古河市駒羽根 1501 番地
古河市総和福祉センター「健康の駅」
古河市役所　総務福祉課　地域福祉係
TEL：0280-92-5771
FAX：0280-92-7564